



茨木市放課後子ども教室 10周年記念誌



ごあいさつ

■ 発刊によせて

茨木市長 福岡 洋一



本市の放課後子ども教室は、平成 20 年の本格実施から、このたび 10 周年を迎えました。多くの皆さまのご尽力により、節目の年を迎えることができましたこと、心から感謝申し上げます。

昨今、少子高齢化が進展し、人口減少社会へと突入する中、経済社会の安定的な発展を握る重要な要因として、「女性が輝く社会」の実現が位置づけられております。あらゆる分野において、女性の活躍する場面が広がりを見せ、共働き家庭が増加する中、子育てと仕事の両立における課題、いわゆる「小1の壁」といった新たな社会問題が取りざたされるようになりました。

こうした課題を解決するため、また、次世代を担う人材育成の観点から、厚生労働省及び文部科学省において「放課後子ども総合プラン」が策定され、子どもたちが健やかに成長していけるよう、環境整備が進められております。

このような動きの中で、本市では、子どもたちが多様な体験・交流活動をする場として、「放課後子ども教室」を開設し、地域の方々に組織されている実行委員会に運営を委託して、現在、市内全 32 小学校区において、「地域の子どもは地域で育てる」という考えのもと、地域の実情に合わせた居場所づくりに取り組んでいただいております。

改めまして、各小学校区で運営にご尽力いただいております実行委員会委員長をはじめ、役員、関係皆様に敬意を表し、心から感謝を申しあげる次第であります。

市といたしましても、引き続き、大学生ボランティアスタッフの募集や、市内企業への協力依頼、研修会の開催など、事業の推進に取り組んでまいりますので、皆様方におかれましては、今後もさらなるお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、放課後子ども教室が、子どもたちの安全・安心な居場所として、地域の皆様から親しまれる場であり続けますよう、あわせて、関係皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申しあげまして、お祝いのことばといたします。

■放課後子ども教室10周年を祝して

茨木市教育委員会教育長 岡田 祐一



放課後子ども教室が10周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

また、日ごろ、各小学校区実行委員会の皆様には、本市教育の振興に深いご理解と格別のお力添えをいただいておりますことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、国において、「新・放課後子ども総合プラン」として、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう「放課後子ども教室」の整備が進められており、本市では、平成21年度から、全32小学校区において各実行委員会に委託し、実施いただいております。そのうち放課後子ども教室と学童保育室の両事業を実施している校区は、全て「一体型」として運営し他市からも注目をされております。

参加児童数や実施日数は年々増加しており、児童や保護者にとって、安全・安心に、かつ楽しく参加できる場として定着しているものと考えております。その結果、この10年間で文部科学省より4校も表彰をいただきました。これもひとえに、実行委員長様をはじめとして、実施に携わっていただいている地域の皆様方のご尽力の賜と感謝いたしております。

放課後子ども教室は、普段の学校生活とちがい、先生でもない保護者でもない地域の方々から宿題や講座等で教えてもらったり、たまに怒られたりと大人に見守られているという安心感や様々な体験・活動等は、子どものいつもと違った面の成長につながる大切な事業の一つだと考えております。他にも、最近では大学生ボランティア自身が、小学生の頃に放課後子ども教室へ参加していたという学生もあり、10年という積み重ねを感じるとともにここまで続けていただいているスタッフ皆様の創意工夫には感服いたします。

結びに、放課後子ども教室のますますの充実・発展とスタッフ皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

—目次—

10 年を振り返って

放課後子ども教室代表者連絡会歴代議長・・・・・・・・・・・・・・4～8

10 年のあゆみ

1 茨木市・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10～11

2 各校区

茨木・・・12	春日・・・13	春日丘・・・14
三島・・・15	中条・・・16	玉櫛・・・17
安威・・・18	玉島・・・19	福井・・・20
清溪・・・21	忍頂寺・・・22	大池・・・23
豊川・・・24	中津・・・25	東・・・26
水尾・・・27	郡山・・・28	太田・・・29
天王・・・30	葦原・・・31	郡・・・32
庄栄・・・33	沢池・・・34	畑田・・・35
山手台・・・36	耳原・・・37	穂積・・・38
白川・・・39	東奈良・・・40	西・・・41
西河原・・・42	彩都西・・・43	

参考資料

1 茨木市放課後子ども教室推進事業実施要綱・・・・・・・・・・・・・・45～47
2 児童数・登録児童数・登録率（平成 20～29 年度）・・・・・・・・・・・・48
3 本体事業延べ実施回数・日数・参加者数（平成 20～29 年度）・・・・49
4 まなび舎 kids 事業延べ実施日数・参加者数（平成 21～29 年度）・・50
5 放課後子ども教室代表者連絡会実施状況・・・・・・・・・・・・・・51～52
6 放課後子ども教室研究会実施状況・・・・・・・・・・・・・・53
7 放課後子ども教室スタッフ研修会実施状況・・・・・・・・・・・・・・54～55
8 茨木市放課後子ども総合プラン運営委員会設置要綱・・・・・・・・・・・・56～57
9 放課後子ども総合プラン運営委員会実施状況・・・・・・・・・・・・・・58
10 学校からの声・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・59
11 茨木市放課後子ども教室大学生ボランティア参加状況・・・・・・・・・・・・60
12 市内企業との連携・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
あとがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・62

10 年を振り返って（放課後子ども教室代表者連絡会歴代議長より）

■平成 21・22 年度議長 三木 昭
（水尾小学校区放課後子ども教室実行委員会
元委員長・現事務局アドバイザー）



国が総合的な放課後対策として「放課後子どもプラン」を平成 19 年に創設したことを受け、本市では「放課後対策事業運営委員会」を立ち上げ、1 年間審議を進め、平成 20 年度より全小学校区で実施することになった。ただし、本市の場合は地域教育協議会（中学校区）に委託せず、各小学校区の独自性を生かして実施することとなったため、開催日数・内容等も統一されていない現状であった。

水尾小学校区では、以前（平成 16～18 年）に「子ども居場所づくりプラン」の指定を受けていた関係もあり、地域の大人が子どもの健全育成に関わることに抵抗はなかった。また、創設にあたって課題となった学童保育とは、連携することは当然であるが他のことは別問題ととらえ、学童保育は「生活の場」、放課後子ども教室は「体験・交流の場」と位置づけることでスムーズに創設できたと思っている。

実施にあたっては地域ぐるみで子どもを育てる観点から、PTA や青健会だけに依頼するのではなく、地域にある各団体連絡協議会（9 団体）に依頼し、実行委員会を設置した。企画の重点としては次の三点を視野に入れて取り組んだ。

- ① 児童にはいろいろなことを体験させる学習内容を。
- ② 特定の大人に係るのではなく、多くの人が少ない回数でも参加する体制を。
- ③ 学校支援を含め、学校と地域の連携を密にする取り組みを。

このような実施状況が継続し、現在は実施日数も参加児童数も増加している。また、大学生や市内企業等の協力も得て、学習内容も多様化しつつある。

10 年間でふりかえって言えることは、

- ① 32 小学校区の放課後子ども教室実行委員会が、市制施行 70 周年で感謝状をいただいたことは、市内全域で順調に継続されていることと嬉しく思う。
- ② 厳しい財政の中で、予算を維持していただいている市当局にお礼を言いたい。
- ③ 担当課として年 2～3 回だが、他校との交流を企画していただいていることは参考になるし刺激にもなる。



■平成 23・24 年度議長 京極 孝夫

（太田小学校区放課後子ども教室実行委員会 委員長）



開設して早や 10 年が経過してきました。

若干の知識をもとに地域・学校・PTA に声掛けし、力強い支援や協力をいただきながら、問題点も多々ありましたが、平成 20 年 6 月 4 日に開設しました。

開設当初、安全管理員が不足し、スタッフ全員で東奔西走し確保した苦い経験もありました。その後スタッフの理解と協力のもと、平成 25 年度より 6 日/週開設の体制となり、活動内容も「宿題・自由教室」と地域の方々による「交流活動教室」の二本立ての運営で今日に至っております。スタッフが望んでいた、子ども達の安全で安心できる活動場所（居場所）を学校が提供してくださった事に、改めて感謝し活動をしています。

そして、開設 5 年目にして学校をはじめ、スタッフ全員の賜物として文部科学大臣賞という名誉ある賞をいただき、改めてこの事業をやってきたことを誇りに思っています。子ども達の参加についても年を追うごとに増加しており、スタッフも奮闘している毎日であります。幸いにして本校区の活動は地域の方をはじめ、PTA の皆様方多くの方々の支えにて運営していることを忘れてはならないことです。運営している中で、皆様方より、いろいろご意見・感謝の言葉をいただき、日々改善し一歩でも前に進むべき努力を目標としております。

一方、この 10 年の世の中の動きを見ますと、平成 23 年に誰もが衝撃を受けた東日本大震災が発生、地上波テレビのデジタル化、24 年には東京スカイツリーが開業、北陸・北海道新幹線の開通と時代のデジタル化・スピード化が広まる中、28 年には熊本地震が発生、30 年には大阪北部地震をはじめ西日本豪雨・北海道胆振東部地震・台風 21 号接近などの天変地異と目まぐるしい 10 年であったように感じられます。

今日まで大きな問題もなく運営できました事、
関係者の皆様に感謝とお礼を申し上げます。



■平成 25 年度議長 高山 隆則

(彩都西小学校区放課後子ども教室実行委員会 委員長)



放課後子ども教室が、全小学校区において本格実施から10年を迎えることが出来たことを大変喜ばしく思います。

この10年を振り返りますと、当校区の子ども教室は、学校創立4年目に設立され、当初は15名の実行委員で活動を開始しました。発足当初、彩都は広い公園が学校の近くにあり子どもたちが安心して遊べる環境にあることから、その必要性を危惧する声も聞かれましたが、大阪教育大学での講演会を拝聴し、居心地のよい素敵な人である「居人」という言葉に巡り会い、地域の方々による居人づくりをその後の活動の礎とすることになりました。また、先発実施の子ども教室を見学しノウハウも学ぶことができました。さらに、自治会の役員会を訪ね協力を要請し、以後きめ細かに実施してきて10年が経過しました。

今日では、全校生の約半数にあたる500名超のメンバーが在籍するまでに成長し、囲碁・将棋・バスケットボール・卓球・各種工作・豚まん作りなどのほか、梅花女子大学レイダース指導によるチアリーディングなど40数種類の講座を、素晴らしいスタッフと委員OBを始めとする地域の皆様のご協力のもと実施しております。

この彩都は、2017年7月に「彩都西まちづくり憲章」を制定し、さらなる住みやすい街、住みたくなる街を目指していて、2018年9月には、まちづくり憲章のあるニュータウンとして「グッドデザイン賞」も受賞しました。

このような街にある子ども教室として、たくさんの講座を体験することにより、多くのことを学び、そして自尊心を育くみ、立派に成長してほしいと願うものです。

その成長を育む要因が、当校区の子ども教室であればと思い、これからも実行委員全員で力を結集し邁進してまいりたいと思います。



■平成 26～29 年度議長 更屋 祥吾

（郡小学校区放課後子ども教室実行委員会 コーディネーター）



平成 19 年、「放課後子どもプラン」が全国で一斉にスタートしましたが、茨木市では 10 校区のみで、殆どの校区が平成 20 年に開設しました。

放課後子どもプランとは、地域社会の中で、放課後や週末に子ども達が安全に安心して、健やかに育まれるよう、「放課後児童健全育成事業」の一環として、厚生労働省と文部科学省が連携した活動の取り組みです。

放課後子ども教室は、地域全体で子どもを見守り育むことを通じて、地域の子どもの教育力や、社会性の向上を図ることを目的に、家庭・学校・社会（放課後子ども教室の地域力）が子ども社会と直結し、学校と家庭のつながりの補助として、大切な役割を担ってきました。放課後教室には講座を中心とした活動や、自由遊びを主体とした取り組みがあり、郡小学校区では、開設以来自由遊びが中心の最もポピュラーな取り組みを続けてきました。しかし、自由遊びには常に怪我や事故と云うリスクを伴い、緊張感の絶えない毎日ですが、子どもたちにとっては、遊びの中で自然に「危険回避能力」が育まれています。長いようで、短かった 10 年を振り返り、沢山の学びや、出会い、喜びがありましたが、喜びの数だけ辛い事もいっぱいありました。

毎日開催する放課後教室は、多くの保護者から感謝の言葉やお礼のメッセージを頂き、それを励みに放課後の子どもの「安全で安心な居場所づくり」にスタッフ一同、日々努力しています。

他の校区には例を見ない、「特色ある取り組み」として、「ひきこもりや不登校」の若者たちがスタッフとして携わり子どもたちと楽しく交流する取り組みを実施しています。約 5 年間で 16 人の若者たちが社会復帰に向け、大きな一歩を踏み出して行きました。

歩んできた 10 年を糧に、学校・家庭・地域が一帯となり、子どもたち、一人ひとりが自分の個性を生かし、自由に伸び伸び、「思いっきり」遊べる、放課後子ども教室でありたいと願っています。



■平成 30 年度議長 宗清 勝三

（耳原小学校区放課後子ども教室実行委員会 委員長）



茨木市の放課後子ども教室は、平成 20 年より実施されましたが、耳原においては、発足に向けて公民館・各地域組織・団体代表者との会議を実施するも意見がまとまらず、学校長・教頭・PTA 役員が中心となり、PTA 会長 OB を実行委員長、保護者をスタッフとして、一年遅れの平成 21 年 4 月よりスタート致しました。

私は、初代委員長が現役世代でもあり仕事の都合で無理と判断し、後を引継ぎ委員長になり約 8 年となります。引き受けた当初は、スタッフも立ち上げメンバーかつ保護者でもあり、情熱的で行動力もあり 100 パーセント安心出来ました。従って、例えば言えば『委員長元気で留守がいい』状態でしたが、スタッフ確保の手法が PTA から委員としての派遣が中心であり、子ども達の卒業と共に放課後スタッフ卒業と成る事がほとんどです。以前より、将来を見据えスタッフ確保のシステム変更を検討して来ましたが、今のところ検討の域を出ておりません。

どちらの校区におかれましても将来の後継者・スタッフの確保に苦慮されていると思われます。当校区では、個人的な声掛け、公民館・連合自治会・老人会・放課後スタッフ OB への声掛けにより、少しずつではありますが、PTA への依存度が減少傾向にあります。又、耳原校区の問題点は企業跡地に住宅が建ち、それに伴う児童の増加があります。来年度、再来年度は益々増加いたします。それ自体は喜ばしい事です。が、利用出来る空き教室が不足している状態です。従って、毎年、学校長・教頭両先生との前向きな綱引きが行われます。

各校区共に児童の増加・減少、後継者・スタッフ確保等々、問題点はあると思いますが、子ども達が安全安心に『創意工夫、元気澆刺、ルールを守れる居場所作り』の為、今後も情報の共有と交換を出来ればと考えておりますのでよろしくお願いいたします。



10年のあゆみ

※各校区のページに掲載されている基本データについて、活動日・実施場所・活動内容は平成30年度、本体事業開催回数・まなび舎kids事業開催日数・コーディネーター数・ボランティア数は平成29年度のデータとなります。

茨木市 10 年のあゆみ

年度	事項
19	【国】放課後等の子どもの安全で健やかな活動場所の確保を図るため、文部科学省および厚生労働省において、両省連携のもと、総合的な放課後対策として「放課後子どもプラン」を創設。 【大阪府】国の「放課後子どもプラン」を受け、放課後や週末等に、安全で安心な子どもの体験・交流活動等の活性化を図る事により、地域社会全体で子どもの豊かな成長を育む教育コミュニティづくりを推進する「おおさか元気広場推進事業」を創設。 ■6月27日、本市教育委員会教育長から諮問を受け、「茨木市放課後対策事業運営委員会」が立ち上がる。本市における放課後対策事業のあり方について、様々な課題を整理し、今後の方向性を示すべく審議を6回行う。 ■子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを目的として、10小学校区において放課後子ども教室を先行実施。 ※前年度に文部科学省の委託事業「地域子ども教室事業」（平成 16～18 年度）を実施していた5校区に新規立ち上げの5校区を合わせた 10 校区 ■12月20日、茨木市放課後対策事業運営委員会が「茨木市放課後対策事業運営委員会意見具申」を取りまとめる。
20	～放課後子ども教室本格実施開始～ ■茨木市放課後対策事業運営委員会で、各校区で実施されている放課後対策事業の検証について、審議を4回行う。 ■2月25日、茨木市放課後対策事業運営委員会が「茨木市放課後対策事業の推進に向けて一課題と方向性一」を取りまとめる。
21	★第2回放課後子ども教室推進表彰受賞（文部科学大臣より） 【郡小学校区】
22	★教育文化月間表彰受賞（本市教育委員会より）【郡小学校区】
23	
24	

年度	事項
25	★平成 25 年度 優れた「地域による学校支援活動」推進に係る文部科学大臣表彰受賞 (文部科学大臣より)【太田小学校区】
26	【国】共働き家庭等の「小1の壁」を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備を進める「放課後子ども総合プラン」を策定。 ★教育文化月間表彰受賞(本市教育委員会より)【太田小学校区】
27	■「茨木市放課後子ども総合プラン運営委員会」が立ち上がる。 ※57 ページ参照
28	★平成 28 年度 「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰受賞 (文部科学大臣より)【茨木小学校区】
29	★教育文化月間表彰受賞(本市教育委員会より)【茨木小学校区】 ★平成 29 年度 「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰受賞 (文部科学大臣より)【水尾小学校区】
30	～10 周年～ ★市制施行 70 周年記念表彰受賞(本市より)【全小学校区】 ★教育文化月間表彰受賞(本市教育委員会より)【水尾小学校区】

茨木小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	『真面目に・楽しく・日々進化』をテーマに、放課後や週末等に地域社会全体で子ども達に豊かな体験活動が出来るように、安全・安心な居場所を設ける。
-----------	--

■基本データ

活動日	月～土		本体事業 開催回数	164 回	まなび舎kids事業 開催日数	103 日
児童数	758 人		登録人数	614 人		
コーディネーター数	1 人		ボランティア数	118 人		
実施場所	ふれあいルーム・運動場・プレイルーム・和室・図書室・音楽室・図工室等					
活動内容	月曜日～金曜日：宿題・自由遊び・講座（水曜日のみ） 土曜日：講座 ※講座：絵入りカレンダー・表千家・裏千家・ソフトボール・書道・卓球・キックベースボール・野球・囲碁・音楽で遊ぼう・ソフトバレーボール・アロマクラフト・フラワーアレンジメント・タグラグビー・バドミントン・サッカー・英会話・読み聞かせ					

■活動の概要・経緯

平成20年度より、毎日14:30～16:30（土曜日は9:00～12:00）開室。立ち上げには、学校より、PTA・青健協・公民館・民生委員・児童委員協議会・主任児童員・青少年指導員・校へ連・学童保育指導員・学童保育育成会の代表者が招集され、会合を重ね、実行委員会の設立となりました。開室時には、安全管理や受付・学習ボランティア・講座の先生方も加わり、地域の皆さんに支えて頂いて運営しています。

■活動の特徴・工夫

- 月曜日から土曜日まで、安全管理員の曜日リーダーを決め、毎日リーダーの指示で管理エリアの割り当てを行い、常に5～6人体制で安全管理を行っています。
- 学童保育室の指導員とも連携し、運動場の遊びはルールを共有し（遊びのエリア分けを行い、子ども同士の衝突事故の防止に努める等）、見守りをしています。
- 地域の方々を講師に迎え、17講座開催しています。1回に2～3講座開催。
- 企画委員会・実行委員会は2ヶ月に1回、安全管理委員会は年2回開催しています。
- 広報誌『放課後子ども通信』を年3回発行しています。

■スタッフの声

- 入会申し込み、講座受付などの事務手続きを中心に種々の雑用に対応しています。（総 務）
- 児童から信頼され元気で楽しい居場所作りを心掛け日々進化する教室を目指しています。（安全管理）
- 毎日元気な子ども達と自主学習を通して共に学び私達も元気をもらっています。（自主勉強）
- 当初スタッフが受付していましたが今では保護者の方々が子ども達の見守りをしています。（受 付）

■活動の様子



自主学習
和室 or 図書室



自由遊び
ふれあいルーム or 運動場

春日小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	子どもたちの安全・安心な居場所づくり
-----------	--------------------

■基本データ

活動日	土	本体事業 開催回数	23 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	962 人	登録人数	397 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	66 人		
実施場所	図書室・和室・体育館・運動場				
活動内容	学習教室・読み聞かせ教室・英会話教室・バスケットボール教室・バレーボール教室・ソフトボール教室・キックベースボール教室・サッカー教室				

■活動の概要・経緯

平成20年11月、市教委の指導により、地域住民の協力、小学校の余裕教室等を活用し、子どもの安全・安心な居場所を設けることを目的とする「放課後子ども教室」を実施するための「実行委員会」を校区内の各種団体代表者等で立ち上げ、「基本方針」を決定した。
その結果、「学校の図書室・和室で学習・読み聞かせ・英会話教室を、運動場でソフトボール・キックベースボール・サッカー教室」を実施することになり、地区住民の方々・各種団体の方々等に安全管理員・学習アドバイザー・地域ボランティア等の募集を行い、16名のスタッフでスタートした。

■活動の特徴・工夫

- 活動日・活動時間が土曜日の午前中である。
- 教室のスタッフは半プロ的(?)な方々に指導してもらっている。
- 安全管理員の数人がソフトボール教室の応援に出て、担当を兼務している。
- バスケットボール教室のスタッフとして春日小学校の先生方にお手伝いをいただいている、本事業に対する学校のご理解がある。

■スタッフの声

- 教室の実施日が土曜日だけでなく、平日の放課後も実施できないか?そのためにはどんな教室でスタッフ(指導者)が確保できるか。
- 高学年の参加が少ないのが残念だが、参加者から元気をもたらしているので楽しい。
- 受付で子どもたちと接する時間は短いですが、卒業した後も道で出会った時には挨拶し合えるような関係になれることがうれしいです。

■活動の様子



英会話教室



バスケットボール教室

春日丘小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	春日丘校区、地域にJUST FIT！
-----------	--------------------

■基本データ

活動日	水・土	本体事業 開催回数	76 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	546 人	登録人数	230 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	139 人		
実施場所	運動場・体育館・図書室・音楽室・和室・家庭科室等（学校の協力のもと）				
活動内容	◎スポーツ関係：野球・バスケットボール・キックベースボール・卓球・バドミントン・サッカー・ドッジビー・ドッジボール・グラウンドゴルフ・ソフトテニス・ソフトボール・女子サッカー ◎文化関係：おもちゃ作り・わらべ歌・しめ縄・松ボックリ・日本舞踊・魚つり・シャボン玉・歌はともたち・お茶・囲碁&将棋・折り紙・昔遊び ◎料理関係：和菓子・おやつ教室・キッズキッチン・お餅つき ◎勉強関係：習字・パソコン・野外活動・そろばん・筆で描こう・数字パズル・英語 ◎自由遊び：宿題・オセロ・将棋・本・トランプ・カルタ				

■活動の概要・経緯

市より先行での開講の打診があり、12年前の平成19年より開始。当時校長の藤堂先生より小学校の学校協議会にて説明・提案があり、学校協議会のメンバーにて準備委員会を立ち上げ、PTAの方々に校長より説明し、趣旨に賛同される方を募集しました。準備委員会をそのまま実行委員会に移行し、現在まで続いています。学童保育との関係も良く、全体的にコーディネーターがまとめているので安心感もあり、これからも長期に続けて行きたいと思っています。

■活動の特徴・工夫

- 当初から講座中心の体制で最初は12講座よりスタートして、今は35講座に発展しています。（講師都合により休講講座あり）
- 学校とPTA、地域の諸団体の協力を得て、安全管理員もPTAのボランティア、他、地域の皆さまの協力により、水曜・土曜と順調に運営しております。
- 講座に使用する備品等も教育委員会の協力をいただき、消耗品以外の在庫備品は300万円を超えずいふんと充実してきました。

■スタッフの声

子どもたちの明るく、元気な声が廊下から聞こえてきます。（さあ、放課後子ども教室の幕開けです）早いもので、10周年（11周年）が経過、丘小は講座中心で、私たちは受付業務・自由遊びの子どもを見守っています。ハッとする時もありますが、大きな怪我もなく、一時間半後、ワイワイといいながら帰ってくる子どもたち、本当に充実した笑顔がいっぱいです。今後も体力のある限り、続けて行きたいと思っています。

※講座関係講師年間延人数約750名、安全管理員登録11名、PTA保護者の各回2名のボランティア

実行委員会は各団体より26名（小学校・PTA・公民館・青健協・校こ連・人権協・民生児童委員・福祉委員・青少年指導員・スポーツ推進委員・学童保育指導員・地域協力者）、コーディネーター1名

■活動の様子



しゃぼん玉



茶道

三島小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	地域、異学年、友達、みんななかよし！
-----------	--------------------

■基本データ

活動日	月～土	本体事業 開催回数	136 回	まなび舎kids事業 開催日数	45 日
児童数	599 人	登録人数	347 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	50 人		
実施場所	和室・会議室・運動場・体育館等				
活動内容	宿題・自由遊び・工作・クッキング・バスケットボール・演奏・手品・バドミントン・ソーイング・フラワーアレンジメント・ソフトボール・野球・読み聞かせなど				

■活動の概要・経緯

立ち上げ当初から事務局と方針を変えず、学校や地域・PTAと相談しながら運営している。子どもだけの居場所ではなく、地域の人の居場所としても機能している。平日はまずは来たら宿題をする。基本的には子ども達に自由に過ごして欲しいので自由遊びを中心に活動している。身体を動かしたり、物作りが大好きな子ども達なので1か月に運動系と文化系の体験を組んでいる。

■活動の特徴・工夫

- 講師は地域の人のみで行っている。
- 運動系では大勢が一度にでは危険なので学年で交代制にしたり、2部制にしている。物作りではボランティアの協力で事前準備をし、短時間で簡単にできるものを工夫している。
- 登録しているボランティアだけではなく、多くの人の手を借りて運営している。
- 学年制限をして抽選などはせず、希望者は全て参加できるようにしている。
- 土曜日は保護者の参加も呼びかけ、料理やバスケットボール・野球など親子で楽しみにしている姿をみる。
- 学童保育室とも連携をとり、終了時間や協力をお願いしている。

■スタッフの声

子ども達の元気な声や姿にパワーをもらっている。学校だけでなく、スーパーなど地域で会うと「なかよしの先生だ」と声をかけてくれるのがうれしい。活動中に「もうすぐ赤ちゃんが産まれるよ」「友達とケンカしてん…」と誰かに聞いてほしいだけの呟きだったり、「ここが痛い」などかまってほしい子どもたちに寄り添う事が大事だと思う。子ども達が来る前のひとときに地域の情報交換も楽しい。

■活動の様子



ソフトボール教室では
大人も交じって汗を流している。



クッキングで
「災害時のご飯作り」を体験

中条小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	子どもが生き生き活動する広場を作る。
-----------	--------------------

■基本データ

活動日	水・土	本体事業 開催回数	54 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	950 人	登録人数	814 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	16 人		
実施場所	運動場・物語ルーム・学習ルーム・理科室・図工室・第2音楽室等				
活動内容	【水曜日】 宿題・読書・自由遊び（サッカー・ドッジボール・大縄跳び・一輪車・キックベースボール・ボール投げなど） 【土曜日】 スポーツ：サッカー・キックベースボール・ソフトボール・グラウンドゴルフ・卓球・ドッチビー・ダーツなど 工作：うちわ・勾玉・風車・スライムボール・栞・水鉄砲・七夕飾り・コースターづくりなど 文化・教養・科学：折り紙・電磁石・ペーパークラフトづくり・囲碁・将棋・書き方・英語・リトミック・プラネタリウム鑑賞・顕微鏡観察など				

■活動の概要・経緯

水曜日と土曜日に教室を開いている。水曜日は運動場と学習ルーム・物語ルーム、土曜日は理科室・図工室・プレイルーム・会議室などを使っている。経緯として、以前から小学校に土曜日解放があり、子どもが自由に小学校に遊びに来ていた。その延長で土曜日が設定され、水曜日は学業の終了時刻がほかの曜日より早いので、この日が設定された。

■活動の特徴・工夫

○特徴として、小学校の校長先生・教頭先生・学童保育の指導員・スポーツ指導員・PTA役員・公民館長・篤志家・青健協会長などが実行委員となり、月末会議を開き、次の月の活動予定を決定する。その内容をわくわくニュースとして児童に配布する。児童はそれを見て参加したり、講座に申し込む。

○工夫として、子どもが自主的、創造的、協調的に参加してくれるように講座の内容を実行委員会で作成する。学生ボランティアを積極的に利用している。

■スタッフの声

子どもが講座に目を輝かせて参加しているのを見るとやりがいがあります。子どもから講座の最中に質問があったり、こちらの間違いを指摘されるのもうれしい。大縄跳びの縄を使って、高い鉄棒にぶらんこを作ると順番待ちができるほどです。これは子どもの発案ですが、子どもは大人が考えられないことを考えると教えられました。

■活動の様子



運動場で遊ぶ



講座「勾玉づくり」

玉櫛小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	子ども達に寄り添いながら…
-----------	---------------

■基本データ

活動日	月～日	本体事業 開催回数	201 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	529 人	登録人数	275 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	60 人		
実施場所	体育館・運動場・和室・家庭科室				
活動内容	室内遊び・読み聞かせ・スポーツ・工作・料理など				

■活動の概要・経緯

地域子ども教室から放課後子ども教室へと15年間、子ども達と一緒に過ごしてきました。『地域の子どもの成長が地域の喜びになるように…』との思いで、地域の諸団体の協力を得ながら、地道に活動をしてきました。今では『子ども教室』が子ども達にも認識され、学校内外を問わず『子ども教室のおっちゃん・おばちゃん』と声がけしてくれます。今後も子ども達の成長を楽しみに、活動したいと思います。

■活動の特徴・工夫

特徴は『ちょっと難しい事に挑戦』です。料理教室で「うさぎリンゴ」や「豆腐の手きり」をしたり、勾玉教室で「のこぎり」を使ったり、子ども達にとってはちょっとドキドキするものに挑戦する事で、出来た時に達成感を得られます。成功してもちょっと失敗しても、子ども達はまた挑戦したいと次への意欲を見せてくれます。また、大人は『口は出しても手は出さない…』を心掛け、子ども達と同じようにドキドキ・はらはらしながら、ぐっと我慢して見守ります。そして、出来た事を子ども達と一緒に喜びます。

■スタッフの声

子ども教室のお手伝いをして、子ども達から元気もらっています。宿題をしたり、一緒に遊んだり、何回か参加しているうちに子ども達が顔を覚えてくれて、『おばちゃん』と明るい声で挨拶してくれるのが嬉しいし可愛いです。また、子ども達が何かを一生懸命にやっている姿を見られるのも楽しいです。それからスタッフは様々な年代の方々がいらっしゃり、皆さんと顔見知りになり、色々な話を聞けるのもまた楽しいです。

■活動の様子



子ども達を見守る大人たち…
「あ～、手出したい」と
言う気持ちをグッと堪えています。



難しそうでも挑戦。
真剣な眼差しの後、
『できた!』の笑顔がたまらない。

安威小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	児童ひとり一人の自主性の尊重と繋がりづくり
-----------	-----------------------

■基本データ

活動日	火・木	本体事業 開催回数	78 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	196 人	登録人数	126 人		
コーディネーター数	4 人	ボランティア数	24 人		
実施場所	会議室・家庭科室・運動場（雨天時は体育館）				
活動内容	宿題・手作り工作・自由遊び（積み木・サッカー・ドッジボール・一輪車・鬼ごっこ等）				

■活動の概要・経緯

- 授業終了後、受付を済ませ、宿題を行い、その後は手作り工作に参加したり、運動場で自由に遊びます。
- 平成20年5月にスタート、今年が11年目となる。学校児童数は減少したが、参加児童数は、微減に留まっている。
- 当初は、ドッジボール・ソフトボール・読み聞かせ等を従事者主導で実施していたが、現在は児童の自主性に任せ、見守ることをメインとしている。

■活動の特徴・工夫

- 毎回、季節をテーマ（鯉のぼり・兜・七夕飾り・サンタやリース・母の日の手紙・カレンダー・お雛さま等）に、折り紙等で試作し、参加希望児童に指導、作成するようにしている。
- 青健協・福祉委員会との共催で、グラウンドゴルフ講習会・しめ縄作りを実施している。
- 年数回「お楽しみ会」を実施、子どもたちと手作りおやつ等に取り組んでいる。

■スタッフの声

- 活動時間が短い（低学年2時間、高学年1時間程度）ことから、宿題以外は児童の自主性に任せただことにより、子ども達は以前よりのびのびと活発にしていると思う。
- 「一輪車に乗れたので見てほしい」「大縄とびを回して」「一緒に遊んで」と児童に言われ、何か自分も元気がもらえるような気持ちになれる。
- 学校や学童の先生方も児童と一緒に参加してもらい助かっている。
- 買い物で会った時にこちらを見つけて「放課後のおっちゃんや」と言ってくれ、うれしく、楽しい気持ちになった。

■活動の様子



宿題



折り紙

玉島小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	子ども達の安全な居場所作り！
-----------	----------------

■基本データ

活動日	火・水・木・金	本体事業 開催回数	54 回	まなび舎kids事業 開催日数	54 日
児童数	621 人	登録人数	286 人		
コーディネーター数	3 人	ボランティア数	40 人		
実施場所	和室・プレイルーム・第2図書室・1年学年室・運動場・体育館				
活動内容	◆火曜日（随時予約制）※自由遊びができる日も有り テーマを決めた取り組み（スポーツ・クラフト・囲碁・書き方など）・宿題 ◆水曜日（別途申込制） デカスポテニスなど全5回講習会・宿題 ◆木曜日（予約不要） 宿題・自主学習・自由遊び・クラフト・スポーツ・その他いろいろ 指導者によるミュージックベル・囲碁・ニュースポーツ・読み聞かせ ◆金曜日（予約不要） テーマを決めた取り組みや遊び（スポーツ・絵本作り・クラフト・部屋遊びなど）・宿題				

■活動の概要・経緯

とても大変な取り組みだという認識があり、なかなか開設できませんでした。当時の校長先生の強い要望で、初めはPTA役員を中心に活動することになりました。現在はスタッフの繋がりでメンバーが増え、高校生や大学生であるスタッフの子どもも活動しています。安全を第一に、子ども達が楽しみに参加できる場所になるよう、話がしやすい雰囲気作りを心がけています。

■活動の特徴・工夫

テーマを決めた取り組みを行う日と、自主的に自ら考えて自由に遊べる日があります。テーマを決めた取り組みを行う日は申込み制とし、人数を限定せずに申込み数に対応できるように前準備をします。参加人数が多くなるスポーツやクラフトは待ち時間が少なくなるよう、学年ごとの開始時間、又学童が参加できる時間を考え進めています。2年前より1年生は1年学年室を使わせてもらい、読み聞かせや絵具を使ったお絵かき等、個々にじっくり取り組み対応ができるようにしています。

■スタッフの声

子どもの笑顔でパワーがもらえる。子どもたちの成長を見ることができ、楽しいし嬉しい。顔馴染みになることで、不審者とは思われずに子ども達に危険なこと、してはいけないことを伝えることができる。近所のおじさん、おばさんとしての繋がりができる。

■活動の様子



1年生読み聞かせ



体育館の様子

福井小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	みんな仲良くありがとう
-----------	-------------

■基本データ

活動日	水・木	本体事業 開催回数	78 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	308 人	登録人数	202 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	16 人		
実施場所	和室・専用教室・体育館・運動場				
活動内容	宿題・和太鼓・コーラス・創作活動・自由遊び（ボール・ゲーム等）				

■活動の概要・経緯

10年前、暗中模索のスタートでしたが、先生方のご指導と協力により大きな失敗や事故もなく、今日を迎えています。当初、参加児童登録が、現在より少ない状態であり、ゆったりしていましたが、今は人数増への対応、特にスタッフの不足が課題です。

■活動の特徴・工夫

- 教室内にミニ図書館が併設されているため、自由に本を読むことができます。
- 和太鼓の練習（地区の行事であるふれあい祭りや敬老会・文化祭に参加）
- コーラス練習（地区の行事である文化祭に参加）
- 学童保育室児童も自由に参加。
- 創作活動。竹とんぼ・うちわ・サンタの置物・こまなど季節に応じた物を1か月単位で製作。（文化祭にも出展）

■スタッフの声

○10年前のスタート時は、子ども達の相手もできましたが、老化を理由に辞められる方も出て来ました。教室が自分の生活パターンになり、刺激をうけ、明るく楽しいパワーをもらっています。実は、遊んでもらって見守ってもらえてるのかもしれない。

○10年間参加し、子どもの成長を見てきました。学年の違う児童がケンカしながらも楽しく遊ぶ姿にいつもパワーを得ています。

■活動の様子



創作活動（すだれ）



和太鼓（ふれあい祭り）

清溪小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	たくさんの遊びを通して心を豊かにしよう。
-----------	----------------------

■基本データ

活動日	月～土	本体事業 開催回数	128 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	17 人	登録人数	17 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	34 人		
実施場所	会議室・体育館・運動場				
活動内容	宿題・自由遊び（ボードゲーム・将棋・囲碁・ボール遊び・バドミントンなど）				

■活動の概要・経緯

「きよたにこどもクラブ」として、宿題を始め自主的な学びの場と、自由遊びを中心に、学年や性別に関係なく、月曜日から金曜日まで活動しています。活動には地域の方々をはじめ、保護者の方々が参加、協力してくださっています。夏休みには、学校のプール指導のあと、昼食の代わりに簡単な調理実習（簡単な内容のもの、お弁当持参での参加可能）をしたり、夏休みの宿題をしたり、遊びたい遊びで自由に遊びます。

■活動の特徴・工夫

○おもいっきり遊んでもらうことをいちばんに考え活動しています。高学年が低学年の勉強を教えている様子は、とてもほほえましい光景です。そして、宿題が終わると、ほとんどの子どもは、体育館や運動場へ駆け出して行きます。

OPTA活動と連携して、今年は、タイルプレートとアートボックス作りで、素敵な作品がたくさん出来ました。

○安全管理員は保護者だけでなく、卒業生のお母さんや在校生の祖父母や地域の方々にも協力していただき、将棋やこま回しなども教えていただいています。

■スタッフの声

少子化で、家に帰っても遊び相手がいない子どもでも、放課後子ども教室に参加すれば兄弟のように遊べる。上級生が下級生に宿題を教えてあげたり、遊びを教えてあげたりしている。上級生が下級生の面倒をみることによって、上級生も成長出来ている。一年生から六年生までが仲良く遊んでいる。こま回しなどの昔の遊びを教えてあげたい。囲碁、将棋など教えてあげたい。これからも、放課後子ども教室は続けていったほうがいい。

■活動の様子



タイルプレート製作中



運動場での遊びの様子

忍頂寺小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	みんなで仲良く、元気よく！！
-----------	----------------

■基本データ

活動日	土	本体事業 開催回数	25 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	29 人	登録人数	29 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	35 人		
実施場所	運動場				
活動内容	自由遊び・レクリエーション大会・クリスマス会・もちつき大会・忍小まつり・耐寒ハイキング				

■活動の概要・経緯

忍頂寺小学校区放課後子ども教室では、発足時から続いている恒例の行事があります。忍小まつり、冬の耐寒ハイキングが代表的なものとしてあります。その他にも出来るだけ子どもも大人も飽きずに行事に参加してもらえる様に活動を行っています。

■活動の特徴・工夫

忍頂寺小学校区は児童数が非常に少ない学校です。そのため、単純にレクリエーション活動一つをやろうとしても地域ボランティアの保護者の皆さんや教職員の皆さんの協力がないことには、行事を行うのも難しいのが現状です。ただ、悪いことばかりという訳ではなく、人数が少ないからこそ一人一人に目が行き届いたりもします。子どもたちには自分たちの暮らしている地域の素敵などところを見つけて、いつまでも地元を大切に思ってくれる人に育ててほしいと思います。

■スタッフの声

忍頂寺小学校区放課後子ども教室は開催回数は多くないですが、子どもたちが楽しく過ごせるような行事をいつも考えていただいています。地域ボランティアとして保護者も毎度参加している為に負担もありますが、子どもたちと一緒にって行事に参加するのでいい思い出作りにもなるのではないのでしょうか。保護者だけでなく地域住民の方々にも参加してもらえると、子どもたちと接点ができ地域の活性化になるんじゃないか？とも思います。

■活動の様子



クリスマス会



耐寒ハイキング

大池小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	地域のつながりで のびのび育て!! 大池の子
-----------	------------------------

■基本データ

活動日	月・水・木・土	本体事業 開催回数	148 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	791 人	登録人数	788 人		
コーディネーター数	5 人	ボランティア数	118 人		
実施場所	運動場・体育館・会議室・和室・図書室等				
活動内容	月・水曜日に校庭開放、木曜日にスポーツ教室、土曜日に講座				

■活動の概要・経緯

2008年に実行委員会を発足し、子どもの居場所づくりを継承した形で土曜日に参加者を募って講座を開催しました。3学期からは、水曜日に大池小学校のすべての児童が、自由にのびのびと遊ぶことができる居場所の提供にと校庭開放を実施。2009年10月から木曜日にスポーツ教室を開始。2013年12月からボール遊びの場所にと月曜日の校庭開放も始めました。現在、子ども達が都合に合わせて様々な活動を楽しんでいます。

■活動の特徴・工夫

◇土曜日は、毎月実施する講座や、「花と緑の会」の方による季節に合わせた講座（アジサイの挿し芽教室等）、ボーイスカウトの方による防災に役立つ講座（テント張り等）などを実施しています。地域の行事を楽しむための「盆踊り教室」もあります。また、昔遊びを楽しむ風揚げ校庭開放は8年目になります。

◇水曜日は、自由にボール遊びやゲーム遊び（中には散歩を楽しむ児童も…）を、また、折り紙や毛糸や風船など置いてある材料を工夫しての物づくりを楽しんでいます。

■スタッフの声

◇宿題・計算カードなど遊びの延長のような勉強の仕方だけれど、それでいいんじゃないかと思う。◇子どもに「教えている」というより「遊んでもらっている」という時間で、それがとても楽しい。◇これからも子どもと一緒に遊んでいきたい。◇元気でいろいろ工夫できる大池の子どもたちが私達の誇りです。

■活動の様子



宿題



ボランティアのみなさま

豊川小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	子ども達が、色々な体験から将来の選択肢が広がるように
-----------	----------------------------

■基本データ

活動日	水・土・日	本体事業 開催回数	68 回	まなび舎kids事業 開催日数	59 日
児童数	213 人	登録人数	210 人		
コーディネーター数	10 人	ボランティア数	50 人		
実施場所	体育館・音楽室・パソコン室・和室・プレイルーム				
活動内容	フットサル・工作・ブロック遊び・吹奏楽・パソコン				

■活動の概要・経緯

茨木市で本事業が始まることになり、本校区だけ「放課後子ども教室」がないと子どもたちの不利益になることから、青少年指導員等が中心となって地域の各団体に呼びかけ設立した。活動内容は月1回開催される実行委員会で決定され、万華鏡やゴム動力飛行機、凧などを手作りする「楽しい工作」や体を動かすフットサル等が人気である。

■活動の特徴・工夫

○講座の周知及び参加者把握は、毎月児童に案内を配布し参加表を回収する形で行っている。
 ○土曜日に活動している吹奏楽グループ「NEO（ネオ）」は、日頃の練習成果を単独、あるいは豊川中学校吹奏楽部と合同で、地区敬老会や各種イベントで発表している。
 ○本校区は、面積が広いいため通学距離が長く、かつ田園地帯が残り遅い時間になると人通りが少なくなるため、本教室の開催を平日は水曜日だけにし、講座参加の子どもの下校は保護者にお迎えを依頼している。

■スタッフの声

○4月当初は、電源の入れ方やキー操作ができない子どもが、4月終わりには、一人でログインもできるようになる。子どもの成長はすごい。おいていかれないように頑張ります。（パソコンスタッフ）
 ○参加する子どもは音楽が好きで、毎回楽しく練習しています。（吹奏楽NEOスタッフ）
 ○元気一杯。毎回ハラハラでーす。（フットサルスタッフ）
 ○楽しくやっています。（楽しい工作スタッフ）

■活動の様子



パソコン講座参加の
子どもとスタッフ



吹奏楽NEO講座参加の
子どもとスタッフ

中津小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	地域子ども達を地域で見守る。学びと体験がいっぱいの楽しく安全な教室。
-----------	------------------------------------

■基本データ

活動日	水・金・土	本体事業 開催回数	52 回	まなび含kids事業 開催日数	- 日
児童数	593 人	登録人数	593 人		
コーディネーター数	2 人	ボランティア数	135 人		
実施場所	和室・会議室・図書室・図工室・第2図書室・多目的室・体育館・運動場				
活動内容	学習・煎茶・工作・フラワーアレンジメント・そろばん・卓球・かきかた・習字・英語・手芸・理科・キックベースボール・バドミントン・野球・サッカー・ラグビー、バルーンアート・ハンドベル・皿回し・ニュースポーツ・読み聞かせ・親子料理ほか				

■活動の概要・経緯

学校完全週5日制に伴い、平成14年、おとなと子どもがともに楽しく遊ぶ会「地域のこどもと遊ぶ会」を発足。平成21年度放課後子ども教室へ移行。平成27年度からコーディネーター2人体制、30年度から3人体制へ。また毎週土曜日、月1回水曜日開催を、平成27年度から月2回水曜日・毎週土曜日、さらに28年度から毎週水・土曜日、30年度から水・金・土曜日開催へと、常に前へ前へと進んで活動している。

■活動の特徴・工夫

全児童が登録。定期講座が10講座、単発講座が8講座、豚まんづくり、大きな七夕笹飾りづくり、校庭での飯盒炊飯・焼き芋・カレーづくり、炭でお餅を焼こう等イベントが年4回。活動内容が非常に豊富、しかも希望者は全員参加できるように、なるべく抽選はせず、学年別に行うなど工夫している。スタッフ数、参加児童数が多いのも特徴。平成29年度からPTA放課後委員会が発足。PTA活動として任期1年毎年60名程度の委員が参加し、保護者の理解が広がっている。スタッフが楽しければ地域力も上がってくる。

■スタッフの声

○中津小の児童は素直でいい子ばかりでやりやすい。
○何をやっても参加人数が多く、大変だけどやりがいがある。
○保護者の理解があり参加が多い。
○新しい取り組みにもみんな前向き。
○講座、イベントが充実していてスタッフも楽しめる。
○とにかくスタッフ全員が一生涯懸命で100%惜しまず力を尽くしている。子どもたちにもそれが伝わり参加が多い。子どもたちが大切でかわいい。

■活動の様子



炭でお餅を焼こう



理科実験
ペットボトルロケット

東小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	安全、安心な居場所づくり
-----------	--------------

■基本データ

活動日	火・水・木・土・日	本体事業 開催回数	113 回	まなびkids事業 開催日数	37 日
児童数	504 人	登録人数	423 人		
コーディネーター数	4 人	ボランティア数	60 人		
実施場所	図書室・和室・対話交流室・PC教室・体育館・運動場				
活動内容	将棋・百人一首かるた・各種かるた・すごろく・日本舞踊・パソコン学習・ディスコン・ペタンク・餅つき・グラウンドゴルフ・ソフトボール・キックベースボール				

■活動の概要・経緯

学校・家庭・地域が一体となって、子ども達の豊かな成長を育む環境作りを目指す。その一環として、放課後や週末等に、子ども達と共に過ごせる時間を持ち、学習・体験を通じて、この輪を広げていきたいと活動している。地域の各種団体、経験者の賛同を得て開かれた教室、これからもたくさんの子ども達の笑顔や、元気な話し声があふれ、ホッとする交流の場になるよう願ってやまない。

■活動の特徴・工夫

- 安全重視。使用道具の使い方指導・一人で下校しない（時には安全管理員と一緒に下校）。
- 児童は誰でも、どの活動（一部学年制限あり）にでも参加できる。
- 子ども主体の活動を心がけ、協働して活動する。
- 時代のニーズに合った活動を心がける。
- 保護者の参加、見学歓迎。
- 指導者や安全管理員については、校区外でもお願いする場合がある。

■スタッフの声

スタッフ同志、意見を出し合い、組織を安定させ達成感がある。スタッフと子ども達がしたいことをやり、お互いに成長している実感がある。スタッフ同志が連帯感を得られ、やりがいがある、おもしろさを感じることができる。今後この組織がますます発展するためにはコミュニケーションの活性化をしていくことが大切である。

■活動の様子



日本舞踊



ディスコン教室

水尾小学校区放課後子ども教室

活動テーマ	子ども達に様々な体験を通し、人との関わりを大切にしてもらいたい！
-------	----------------------------------

■基本データ

活動日	月～日	本体事業 開催回数	264 回	まなび舎kids事業 開催日数	108 日
児童数	585 人	登録人数	578 人		
コーディネーター数	3 人	ボランティア数	222 人		
実施場所	プレイルーム・和室・図書室・体育館・運動場・図工室・水尾コミュニティセンター（多目的室・調理室）				
活動内容	定期的に行う教室（手話・バドミントン・ミニサッカー・ソフトボール・キックベースボール・和太鼓・算数教室・英語・そろばん等）、季節毎に行う教室（もなか教室・くらりか関西・プラ板・染め物等）、いきいきクラブ（18クラブ）【本体事業34教室、まなび舎kids事業7教室実施】				

■活動の概要・経緯

「放課後子ども教室」発足時に企画の重点とした三点、①児童にはいろいろなことを体験させる学習内容を、②特定の大人が係わるのではなく、多くの人が参加する体制を、③学校支援も含め、学校と地域の連携を密にする取り組みを継続しながら推進してきた。また、実施日数（土日曜・長期休業中）の増加や指導者（市内協賛企業・大学生他）の多様性も取り入れている。

■活動の特徴・工夫

○各教室毎に毎月の日程を組み開催。定期的に行う教室、季節毎に行う教室、外部講師を招いての楽しみ教室等。募集する際は、対象学年が偏らないように工夫している。

○講師や安全監視は、校区各団体の方に依頼。また、公民館講座の講師、講座生の方にも協力を依頼。

○事務局には、学校の先生、学童保育指導員の方にも携わっていただき、安全面、子どもの居場所として教室運営を多方面から、見守っていただいている。本体事業・まなび舎kids事業を事務局メンバーが広い視野をもち、意見を出し合いながら、今後とも活動をすすめたい。

■スタッフの声

今年で10周年、放課後子ども教室に事務局員として参加し、平成29年度は「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰を受賞し、関係者一同感謝致しました。この教室が学校・家庭・地域と連携し、子ども達の出会い、各種教室の多様な体験を通して、地域のスタッフの暖かい指導で新たな体験を成し、協調・自主・健康と校訓に添える様、取り組み、子どもの育成が出来ればと考えています。

■活動の様子



バドミントン教室



英語教室（左上）
和太鼓教室（右下）

郡山小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	子どもたちに豊かな体験活動を！子どもの成長を支える元気な地域の応援団！
-----------	-------------------------------------

■基本データ

活動日	水・土・日	本体事業 開催回数	104 回	まなび舎kids事業 開催日数	169 日
児童数	260 人	登録人数	260 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	53 人		
実施場所	運動場・体育館・プレイルーム・和室・家庭科室・図書室・図工室等				
活動内容	サタデートライアル（月1）・水曜子ども教室（週1）・5日制クラブ（適宜）				

■活動の概要・経緯

郡山小学校の放課後子ども教室は、学校週5日制が完全実施された2002年に立ち上がった「子どものための学校週5日制を考える会議」（通称：5日制委員会）が母体になっています。そこから毎月第3土曜日にスポーツ・文化・体験活動を取り入れたいろいろな講座を実施するサタデートライアルが始まり、5日制クラブ、水曜子ども教室へと活動が広がり、現在に至っています。子どものために地域・家庭・学校が一体となって進められています。

■活動の特徴・工夫

○月1回のサタデートライアルでは、料理・おもちゃづくり・絵画・百人一首・テニス・卓球等々毎回7～8つの講座が用意され、子どもたちは事前に申し込んだ講座で活動します。希望制ですが終わったあとは地域手作りのカレーライスをお腹いっぱい食べて帰ります。
○週1回の水曜子ども教室では、スタッフに見守られながら宿題と自由遊びをします。
○5日制クラブには、民舞・園芸・卓球・ダンス等があり、年間通しての継続した活動になっています。どの活動にも子どもたちとスタッフの笑顔が溢れています。

■スタッフの声

○サタデートライアルが始まって16年、細かい事前準備が必要な講座もありますが子どもの嬉しそうな表情を励みに頑張っています。
○（PTAスタッフより）子どもたちに一生懸命準備し教えてくださる地域の方には頭が下がります。感謝の気持ちでいっぱいです。
○やりたい！と思う子どもが一人でもいたらその講座は実施します。子どもファーストの活動ですから。
○今後も持続可能にしていくための見直しや工夫が必要です。

■活動の様子



サタデートライアル
お料理教室



サタデートライアル
おもちゃづくり

太田小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	笑顔で 元気で 楽しい 太田さくらくらぶ	
-----------	----------------------	---

■基本データ

活動日	月～土	本体事業 開催回数	235 回	まなび舎kids事業 開催日数	191 日
児童数	771 人	登録人数	686 人		
コーディネーター数	6 人	ボランティア数	63 人		
実施場所	プレイルーム・和室・体育館・運動場・家庭科室・図書室等				
活動内容	宿題・自由教室・交流活動教室（いけ花・茶道・キッズキッチン・花アレンジメント・書き方・将棋・囲碁・ミニバスケットボール・バレーボール・卓球・グラウンドゴルフ・キックベースボール・ストリートダンス・集団遊び）				

■活動の概要・経緯

以前のふれあい教室の講座の協力による講座（7講座）の継続と新規講座（7講座）&宿題教室（自由）の両事業を活動の柱として立ち上げ、2013年に安全管理員の理解・協力のもと4日／週より6日／週に拡大して、今日まで開設しており、活動するにあたり「笑顔で 元気で 楽しい 太田さくらくらぶ」の合言葉で子ども中心の活動を行っている。

■活動の特徴・工夫

○宿題・自由教室（月～金曜日の放課後～16:30）と地域のボランティアの協力による講座（開設曜日・講座に変動あるが平日は15:30～16:30と第2・3土曜日の9:30～11:30）の両事業を開設している。

○事務方等としてPTAスタッフ（2回／年募集）による毎月の募集（さくらくらぶだより）の発行と募集集計等の業務&PTAOBの自主的協力による毎日の受付業務。

■スタッフの声

さくらくらぶと10年、活動内容の充実と共に毎年新入生が入学し、顔見知り子ども達が多くなり、近所で遊んでいたたり、道で出会う子ども達との会話が多くなったり、子ども達から沢山の元気をもらっている。お陰様で元気に過ごさせて頂き感謝しています。自分の成長が望めなくなると子ども達の成長を見守るのが楽しくなります。子ども達自身が自ら考え工夫し成長する時の大きな喜びが、子ども達を輝かせて見せます。その時、人は幸せを感じるのでしょう。

■活動の様子



放課後のひと時、みんな真剣に宿題に取り組んでいる



こんなんでもいいのか・・・
すごく、上手に生けているよ

天王小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	地域の方に見守られ、安心安全で自由に遊べる放課後子ども教室を目指して
-----------	------------------------------------

■基本データ

活動日	月・水・土・日	本体事業 開催回数	57 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	689 人	登録人数	318 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	19 人		
実施場所	図書室・児童会室・図工室・和室・プレイルーム・運動場・体育館				
活動内容	宿題・読書・読み聞かせ・英語で遊ぼう・クラフト講座・生け花講座 ティーボール・サッカー・ドッジボール・卓球・昔遊び				

■活動の概要・経緯

平成20年より毎週水曜日に図書室と運動場をお借りして開始しました。次年度からも水曜日を定例日とし、授業終了後、受付を済ませ、宿題をした後は自由な時間、読書やいろいろな講座に参加したり、運動場で自由に遊んだりして、5時まで過ごします。これまで多い時は200人を超える児童が参加することもありました。平成30年度より、月曜日と水曜日を定例日にして年間70回前後で活動をしています。

■活動の特徴・工夫

平成30年度は、月曜は6～70人、水曜は約130人の児童が参加します。月曜は2つの図書室、水曜は2つの図書室・児童会室・図工室で活動。各教室に見守りのスタッフを配置。学年ごとに宿題をし自由に過ごします。工作は通常はペットボトルや牛乳パックなどを使ってエコ工作。七夕やクリスマス、節分などの季節の工作、高学年を対象とした生け花教室、1年生を対象とした読み聞かせ会など児童にあわせた講座も実施。運動場ではスタッフも一緒に遊びながら見守り。雨の日はけん玉やこま回し・卓球などでも遊びます。時間になると運動場に集合、出席カードを受け取り、地区ごとに集団で下校します。

■スタッフの声

「こんにちは」と放課後になると渡り廊下から明るい子どもたちのあいさつの声が響いてきます。「こんにちは」と返す私たちも、子どもたちの笑顔や声で元気をいっぱいもらっています。「一輪車乗れたよ、見て見て」と子どもたちの成長も日々感じることもできます。これからも子どもたちが安全に安心して遊べるよう見守りを続けたいです。

■活動の様子



読み聞かせ



生け花講座

葦原小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	みんな楽しく遊ぼう学ぼう
-----------	--------------

■基本データ

活動日	月・水・土	本体事業 開催回数	102 回	まなび舎kids事業 開催日数	24 日
児童数	672 人	登録人数	278 人		
コーディネーター数	3 人	ボランティア数	190 人		
実施場所	体育館・第二会議室・パソコン教室・運動場・葦原コミュニティセンター				
活動内容	月・水：るんるん・マジック・パソコン教室・新舞踊・英語・科学教室など 土：キックベースボール・バスケットボール・グラウンドゴルフ・毛筆・茶道・フラ ワーアレンジメントなど				

■活動の概要・経緯

平成20年度から、放課後や週末等に、地域住民の参画・協力を得て、小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもたちの居場所を設けることにより、子どもの体験・交流活動等の活性化を図り、地域社会全体で子どもの創造性、自主性、協調性を養い、豊かな成長を育むコミュニティづくりを推進するため、「葦原小学校区放課後子ども教室」を実施している。

■活動の特徴・工夫

○月・水曜日は、ドッジボール・バドミントン・工作などの学習や遊びを全員で行う「るんるん」を実施。※マジック・パソコン教室・新舞踊・英語・科学教室などの定期講座に参加しない児童が参加。

○土曜日は、キックベースボール・バスケットボール・グラウンドゴルフ・毛筆・茶道・フラワーアレンジメントなど多彩な教室を開くことにより子どもたちが楽しめるようにしている。

○年2回、全講座の発表の場として「ど〜なつまつり」を実施。

■スタッフの声

「ただいま」と元気に挨拶しながら教室に入ってくる子や、学校であったことを話しに来る子、色々な子がいます、みんな学校が終わって来ることを楽しみにしてくれていることが嬉しいです。また低学年の子達は自由に遊べる「るんるん」が大好きな元気な子が多く、高学年になると、地域の方々に教えてもらえる教室を「習い事」と言って頑張る子が多くなるため、様々な学年の子の居場所になっており、大切な場所だと感じます。

■活動の様子



ど〜なつまサマーフェスタ
水鉄砲的あて



フラワーアレンジメント
土曜日の生け花教室

郡小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	自由遊びで伸び伸びと
-----------	------------

■基本データ

活動日	月～金	本体事業 開催回数	193 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	346 人	登録人数	318 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	32 人		
実施場所	放課後子ども教室・学習室（和室）・体育館・運動場				
活動内容	はじめに宿題（学習）、自由遊びが中心 体育館：のぼり棒・ダブルダッチ・バドミントン・ミニバスケットボール・ドッジボール・こま回し等 運動場：一輪車・サッカー・野球・遊具遊び等				

■活動の概要・経緯

- 平成21年度文部科学省全国推進表彰
- 給食がある日の放課後、5時まで毎日実施
- 放課後の自由な時間に安心して、「思いっきり」遊びたい、そんな子どもたちの「居場所づくり」を目的に開設されたのが郡小学校区放課後子ども教室
- 「地域の子どもは地域で育てよう」を基本に、学校・家庭・地域が一体となった取組みを推進
- 特色ある取組みとして、「ひきこもりの若者」の皆さんがスタッフとして携わり子どもたちと楽しく交流したり、不登校気味の児童への活動参加を推進したりしている。

■活動の特徴・工夫

自由遊びが中心の放課後子ども教室では、異学年の子どもたちが、相手を思いやる気持ちを大切に伸び伸びと遊ぶ中で成長を育んでいる。また、支援が必要な児童等については、担任の先生方と常に連携をしている。日々、スタッフ全員が緊張感を持ってトラブルや事故防止に努めている。更に、水曜日毎の囲碁講座は非常にレベルの高い講座となっていて、現在高校1年生の先輩が七段を取得した。今年度は32名の講座生が途中でやめることなく、大先輩の刺激を受け真剣に碁盤に向かっている。

■スタッフの声

日々子どもたちが成長して行く様子を目の当たりにして、嬉しい気持ちで子どもたちに接しています。上級生が下級生に思いやりをもって接している場面を沢山見かけます。友だちがこけたら直ぐに「大丈夫か？」とみんな集まってきたり、宿題を上級生が下級生に教えてあげたり、人を思いやる優しい姿に触れ、今、現在子育て中の私には、癒され勉強になることばかりです。保護者の皆さんも一度見学に来られたら、我が子の新しい一面、大きな成長を感じられると思います。

■活動の様子



放課後を「思いっきり」
楽しむ子どもたち



囲碁講座を視察する
大阪府教育委員会

庄栄小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	様々な体験を子ども達が仲良く楽しめる放課後子ども教室
-----------	----------------------------

■基本データ

活動日	月・水	本体事業 開催回数	67 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	397 人	登録人数	204 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	29 人		
実施場所	図書室・図工室・体育館・運動場・畑・庄栄コミュニティセンター調理室				
活動内容	自由学習・自由あそび・クッキング・クラフト・手話・お茶・カブトムシ・英語・折り紙など				

■活動の概要・経緯

週に2回、月・水曜日に実施。月曜日は図書室での自由学習、体育館でボールやなわとび・フリスビーなどを使っての自由あそびや、体育館内で折り紙や手話を学んだりしています。水曜日は全学年5時限の為、畑での作業や調理室でのクッキング、図工室でのクラフトなど、子ども達が季節を感じながら楽しめる内容を考えて行っています。

■活動の特徴・工夫

学校の横に放課後子ども教室用の畑があり、毎年玉ねぎやさつまいもを植え、また収穫を行っています。子ども達が安全に土に触れ作業ができるように、数日前よりスタッフが土の手入れや畑の安全確認をしています。当日もスタッフの人数を増やし、見守っています。夏には、カブトムシの幼虫を一匹ずつ配り、幼虫→さなぎ→成虫になる様子を自宅で観察できるようにしています。冬には、コミュニティセンターの和室でお茶をしています。日本ならではの行事や季節感を大切にしながら、クッキングやクラフトなど子ども達が楽しめるものと考えて行っています。

■スタッフの声

○子ども達と一緒に様々な体験ができ、とても楽しい時間を過ごせています。
○様々な学年の子ども達と触れ合える事が楽しいです。クラフトやクッキング、体育館であそぶ時は事故が起こらない様に注意する事を心がけています。小学生の中には、昔のあそびなど知らない子どもも多く、共に様々な事を学んだり、一緒に楽しく体験できればと思います。

■活動の様子



玉ねぎの育て方



クッキング
(かぼちゃきんつば)

沢池小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	子どもたちの安全・安心な居場所づくり
-----------	--------------------

■基本データ

活動日	火・金	本体事業 開催回数	60 回	まなび含kids事業 開催日数	- 日
児童数	680 人	登録人数	292 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	30 人		
実施場所	ランチルーム・和室・運動場				
活動内容	宿題・自由遊び（外遊び：ボール遊び・一輪車等、室内遊び：折り紙・けん玉等）				

■活動の概要・経緯

○当初の市の意向を受け、放課後に小学校の空き教室などを利用し子どもたちの居場所作りを設けることとなり、地域住民の参画・協力を得て、子どもたちの創造性、自主性、協調性が持てるよう、地域全体で豊かな成長を育むコミュニティ作りをする。
○宿題を済ませ、ランチルームで工作や塗り絵などをし、6限終了後は運動場にもでれる。子どもたちは、好きな事をして遊ぶ。

■活動の特徴・工夫

○講座形式ではなく、放課後子ども教室に登録をしていれば、開催日には子どもたちは自由に参加することができ、教室内、運動場で自由に遊ぶことができる。
○学童に通っている子どもたちも、先生と一緒に遊びにすることができる。
○学期末の土曜日には、「わくわく祭り」として、料理教室・昔遊び・工作（割りばし鉄砲など）・グラウンドゴルフ・囲碁将棋などいろいろなコーナーを設けたイベントを開催しています。地域の方々・学童保育育成会・多世代交流センターなどたくさんの方にご協力いただき実施している。

■スタッフの声

○「ただいまぁ～」と元気よく走って帰ってくる子どもたち。とにかく、パワーが有り余っているようで、子どもたちから毎回パワーをもらっています。低学年が多く、時にはけんかして泣いてたりなど毎回何かとありますが、楽しく参加しています。
○子どもたちは工作をすることが大好きで牛乳パックやプリンカップ、ペーパーの芯など、何やら一生懸命使っています。毛糸やひもなどをつけて犬（？）の散歩だとか…日々子どもたちの豊かな発想にはおどろきです。

■活動の様子



宿題



工作

畑田小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	子どもたちに豊かな体験活動を！
-----------	-----------------

■基本データ

活動日	水・土	本体事業 開催回数	90 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	328 人	登録人数	202 人		
コーディネーター数	2 人	ボランティア数	13 人		
実施場所	運動場・体育館・図工室・算数教室				
活動内容	自習（宿題）・ドッジボール・野球・サッカー・体操・和太鼓・グラウンドゴルフ・折り紙・自由遊び				

■活動の概要・経緯

教育長より「茨木市でも『子どもの居場所づくり3ヶ年計画』に取り組みたい」と依頼があり、畑田小学校でも取り組もうと、当時の公民館長から、地域とのつながりが深い公民館区事業実施委員会に相談がありました。初めは「PTAにお願いしては？」などの意見もありましたが「見守ろう、わが子、ひとの子、みんなの子」の気持ちを皆が持ち、まとめることができました。そして、まずは無理のない回数・講座から始めました。運動場・体育館の利用について各スポーツ団体との調整がうまくいかず苦労しましたが、『放課後、子どもたちが自由に遊べる居場所』のために地域の方や各種スポーツ団体が互いに協力し合って今に至っています。

■活動の特徴・工夫

活動場所が重なるスポーツ団体からは「いくら子ども教室優先とはいえ限度がある」と言われたが、話し合った結果、子ども教室の子らを受け入れてくれ、スポーツ団体の子らと一緒に面倒を見てくれることになった。またそれに伴い、スポーツ団体へ加入する子どもも増え、団員不足の解消につながっていると喜んでおられるそうです。畑田子ども教室の目玉である和太鼓講座は、ふるさと祭りなど年4回程の発表の場があり熱心に練習をしています。折り紙教室は、とても人気があり20名の募集に対し、毎回30名を越すので抽選をしています。体育館遊びの後、子どもたちが一列に並んで雑巾がけをする光景は、素晴らしいと感じております。

■スタッフの声

私たち安全管理員は、参加児童の「安心・安全な居場所づくり」をベースに子どもたちへのサポートをしています。様々な活動への支援だけではなく、子どもたちの安全確認やケガ等の対応を行い、活動に安心して参加できるよう、見守っています。また、笑顔で子どもたちと接し、話し相手になるようにしています。

■活動の様子



和太鼓教室



折り紙教室

山手台小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	子どもたちに豊かな体験と活動を通じて優しさと思いやりを！
-----------	------------------------------

■基本データ

活動日	水	本体事業 開催回数	32 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	556 人	登録人数	137 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	59 人		
実施場所	和室・プレイルーム・低学年用図書室・高学年用図書室・運動場・体育館				
活動内容	宿題・自由遊び・工作・習字・お話会・音楽・スポーツ指導者とのスポーツ＆ゲームなど				

■活動の概要・経緯

発足当時は、和室を使用し、一週間に一日実施していました。ボランティア募集では、講座を行いたいと5人の先生方が立候補してくださり、第1週の水曜日は工作（廃品を利用しています）、第2週の水曜日は習字、第3週の水曜日は面白い話し会（紙芝居等も含む）、第4週の水曜日は音楽を現在も継続して実施しています。

■活動の特徴・工夫

○宿題を済ませた後、その日に実施されている講座を受けたり、室内や運動場で自由遊びを楽しんでもらいます。自由遊びは、室内でゲームや折り紙、ぬり絵などを行い、運動場では鉄棒や大縄跳び、一輪車遊びをしています。雨天時は、体育館でフラフープやボール遊びをしています。勉強や遊びを通して、学年を問わず尊敬し合い、いたわり合いながら経験を積んでほしいです。
○学期の最終活動日は、茨木市スポーツ推進委員に依頼して、簡単なスポーツとゲームを体育館で実施しています。

■スタッフの声

放課後子ども教室で子ども達に会えることがとても楽しみです。子ども達は、週毎に変わる活動を楽しんでいます。色々な場面で、学年を超えて助け合っている姿を見ると心が温かくなります。心身共に日々成長している子ども達と接することが出来るのは幸せで、元気もいっぱいもらっています。学校以外でも声をかけてもらえることも嬉しいです。この教室でのひと時が、子どもたちの良い思い出になってくれるといいなあと思っています。

■活動の様子



宿題



習字

耳原小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	笑顔が溢れる充実した放課後の居場所作りのお手伝い！
-----------	---------------------------

■基本データ

活動日	火・水・木・土	本体事業 開催回数	108 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	633 人	登録人数	633 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	12 人		
実施場所	図書室・和室・体育館・運動場				
活動内容	自由遊び・習字教室・工作教室・自転車教室・防災ゲーム・漢字教室・ドッジボール・チアダンス・キックベースボール・クリスマス会・交流会				

■活動の概要・経緯

子ども教室は、茨木市で平成20年にスタートしたが、耳原は地域各種団体と協議するも進展なく、学校・PTA協議の結果、PTA会長OBを長とし、PTA委員スタッフ中心で平成21年5月に発足。市内小学校の内では遅く活動を開始した為、他校のモデルも多く、参考になる事が多々あった事も事実である。現在、スタッフは、定期的に自治会回覧・掲示板・声掛けで募集を実施。平成31年度より組織・スタッフの再構築を行う考えである。

■活動の特徴・工夫

OPTAの保護者の方（24名）と地域の方々の協力により活動している。

○参加者の人数制限はない。

○年度初日には、スタッフ全員参加の交流会を実施している。

○12月のクリスマス会では、先生方にサンタクロースで参加していただいている。

○年度末には、スタッフ一同と地域の方々の協力をいただき、交流会を実施している。

■スタッフの声

○子どもたちの安全を見守ると共に子ども達・指導者・スタッフの居場所になっている。

○参加人数に対しスタッフが少ないため、教室の制限をしている。

○学校以外で出会った時「放課後のおばちゃん」と駆け寄って来てくれる。最高にうれしい。

○各種イベントでの児童の笑顔はスタッフみんなの「ビタミン愛!」です。

○工作の出来上がった作品を嬉しそうに持って帰る姿、いいですね。

■活動の様子



年度初めの交流会風景
(綱引き大会)



年度末交流会風景
(防災バケツリレー)

穂積小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	地域と保護者が見守る中、子どもが子どもらしく自由にのびのびと遊べる場
-----------	------------------------------------

■基本データ

活動日	土	本体事業 開催回数	34 回	まなび含kids事業 開催日数	- 日
児童数	450 人	登録人数	159 人		
コーディネーター数	3 人	ボランティア数	80 人		
実施場所	運動場・体育館・第二会議室・おはなしのくに（第二図書館）				
活動内容	自由遊び（サッカー・野球・ドッジボール・バドミントン等）・百人一首・子ども舞踊教室・工作				

■活動の概要・経緯

○平成20年度より、「子どもたちの安全で健やかな遊び場所を設ける」「地域の人々との交流を通して協調性・自主性を養い豊かな成長を育んでいく」ことを目的に、土曜日の午前中に実施。子どもたちは、自由な発想で自分たちのしたい遊びを楽しんでいる。
 ○PTA・青健協・こども会・連合自治会・公民館・福祉委員会・民生委員児童委員・青少年指導員・体育指導員・学童保育指導員・学童保育育成会・学校が連携して実施している。

■活動の特徴・工夫

○登録児童の保護者が学期ごとに1回以上見守りスタッフとして参加して下さっている。
 保護者の方は大変協力的で毎週のように参加して下さる方も多数。
 ○子どもたちは遊びたい遊びを選び次々と変えながら楽しい時間を過ごしている。
 ○兄弟学級ではない他学年との係わりも楽しいようだ。
 ○子ども舞踊教室では、日頃の練習の成果を敬老会やケアハウスでの発表会で披露している。

■スタッフの声

○楽しく遊んでいる子どもたちの生き生きとした表情を見ていると、こちらも元気になる。
 ○当番のスタッフ同士とおしゃべりが楽しい。
 ○子どもが放課後子ども教室に行くのを楽しみにしているのでスタッフとして参加するのも励みや楽しみになっている。
 ○子どもや大人同士の交流を通じ、教室以外でも声を掛け合うようになり、地域防犯につながっている。

■活動の様子



工作（七夕）



子ども舞踊教室（左上）
百人一首（右下）

白川小学校区放課後子ども教室

活動テーマ	地域住民の協力のもと、子どもたちが学び、遊び、ふれあい、体験する中で豊かな心を育み、人間性や社会性を養う。
-------	---

■基本データ

活動日	火・土	本体事業 開催回数	55 回	まなび舎kids事業 開催日数	34 日
児童数	439 人	登録人数	192 人		
コーディネーター数	2 人	ボランティア数	28 人		
実施場所	ふれあい室（放課後子ども教室専用） 第1・2図書室 和室				
活動内容	宿題・講座（習字・絵手紙・折り紙・ちぎり絵・将棋・おもちゃ作り・押し花アートクラブ）・読み聞かせ・卓球・ドッチビー・ボーリング				

■活動の概要・経緯

平成20年6月、実行委員会（校長・公民館長・青健協会長、他）を立ち上げ、活動実施に向け、運営スタッフを集約した。活動概要は、毎週火曜日と隔週土曜日（午前中）を基本とし、学校との連携を大切にして活動している。近年は学童保育との話し合いの上で参加を募り、行事に合わせて柔軟性のある受け入れをしている。年度末には、一年の総括としてお楽しみ会を計画し、人形劇やコンサート、昼食を共にして楽しむ行事を実施している。

■活動の特徴・工夫

火曜日：宿題後は、外遊びや遊具を使っでの自由遊び。月一回は、おもちゃ作りを講師を招いて取り組んでいる。常に一人遊びではなく、多人数で出来る遊び時間になるように工夫している。下校時には、遊びの中でもめ事がなかったか確認し、話し合い・処理を共有し、次回へ持ち越さないように配慮。そして、子ども達からリクエストのあった絵本の読み聞かせをした後、集団下校をする。

土曜日：講座を実施。事前に申し込みを受け、人数把握など受講者名簿のデータ管理は、専用ソフトを活用して簡略化を図っている。

■スタッフの声

子どもたちの元気な声と笑顔に癒されています。スタッフ歴1年、未熟な私ですが、児童との語らいや真剣に取り組んで素敵な作品ができた時の嬉しい顔を見るのは励みになります。続けて感謝の気持ちで関わっていけると嬉しいです。10周年ということは、当時1年生だった子が今は、高校生ということですね。すごいです！これからも色々な経験をしたり、おしゃべりをして楽しい時間を過ごしてもらえたらと思います。

■活動の様子



一日の総括とユーモア
たっぷりの読み聞かせ



講座：アートクラブ
傘に一杯お絵描き

東奈良小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	地域とともに夢に向かう東ならっ子
-----------	------------------

■基本データ

活動日	月・土	本体事業 開催回数	81 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	443 人	登録人数	232 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	39 人		
実施場所	図書室・体育館・運動場				
活動内容	宿題・読書・ソフトボール・キックベースボール・ソフトバレーボール・手芸・フラワーアレンジメント・読み聞かせ・一輪車・ビーズ・漢字検定				

■活動の概要・経緯

○安心安全な子どもの居場所作りとして、学校をはじめとしてPTAや学童保育室の指導員の方に協力を頂き活動しています。
○月曜日と土曜日の週二日実施しています。月曜日は、宿題や読書・自由遊び。土曜日は、ソフトボールなどの運動や手芸や漢字検定などの単発の講座を行っています。

■活動の特徴・工夫

○運動においても講座においても、子どもたちの安全第一に、そして安心して参加できるように配慮しています。
○ビーズやフラワーアレンジメントの講座は、男女関係なくたくさんの子どもが参加してくれています。
○昨年からは漢字検定の講座を行っています。子どもたちは、毎回熱心に取り組んでいます。

■スタッフの声

○子どもの元気な姿を見ることができる、一緒に過ごすことができて楽しい。
○子どもの地域のお役に立ててうれしい。
○また、その反対に子どもを見ることは責任が大きすぎて…という方もいらっしゃいます。もっとたくさんの方にご協力して頂ければと思います。
○漢字検定にチャレンジ講座に参加している子どもたちの目標に向かって一生懸命取り組む姿に感心しました。

■活動の様子



ソフトボール講座
(校庭開放日以外の毎週土曜日の午前中に実施)



今年2回目の
漢字検定にチャレンジ講座

西小学校区放課後子ども教室

活動 テーマ	笑顔いっぱい 元気いっぱい 仲良くあそぼう
-----------	-----------------------

■基本データ

活動日	水・土	本体事業 開催回数	42 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	285 人	登録人数	285 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	30 人		
実施場所	運動場・体育館・図書室・和室（公民館）・実習室（公民館）				
活動内容	水曜日：宿題・自由遊び・グラウンドゴルフ教室・そろばん教室 土曜日：茶道教室・料理教室・百人一首教室				

■活動の概要・経緯

○開催は6月～3月（8月は休み）
 ○水曜日は午後2時30分から4時30分（11月～3月は4時）まで実施。
 ○見守りサポーターは、自治会・公民館・福祉委員会・防犯協会・PTAにお願いしている。PTAは放課後子ども教室の委員会を結成しており、中心的役割として参加している。

■活動の特徴・工夫

○見守りサポーターは、各組織から3名参加されますので、PTAと合わせて毎回20名以上で、子どもたちが安全に楽しく活動できるよう見守りをしている。毎回100名以上の児童が参加するため、活動場所別に見守りを分担している。今まで大きなケガはありません。
 ○子ども達に自由に遊んでもらう一方で、授業とは違う学びの場を作る事に重きをおいているため、水曜日は通常の活動以外に催し物を多く取り入れている。
 具体的には、茨木市内企業プログラムの中から「最中作り」「ジャム作り」、他にもマジックやお笑い・自然観察・体操などを開催しました。参加者が多いため抽選を取り入れ、落選した児童も参加できるよう複数回実施したりしている。

■スタッフの声

子ども達が毎回楽しみにしてくれているように、スタッフもいつもと違う子どもの表情を見ることができ大変楽しく活動しています。体育館や運動場ではのびのびと、製作教室では皆、真剣に取り組んで出来上がった時の嬉しそうな様子は、こちらが元気をもらいます。少しずつ子どもとの距離が縮まり地域で守られていると感じてくれているようです。

■活動の様子



茶道教室



マジック教室

西河原小学校区放課後子ども教室

活動テーマ	子ども達に安全な居場所を提供し、楽しい時間を過ごしてもらう。
-------	--------------------------------

■基本データ

活動日	水・土	本体事業 開催回数	37 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	193 人	登録人数	95 人		
コーディネーター数	1 人	ボランティア数	約20 人		
実施場所	空き教室・体育館・運動場・西河原コミュニティセンター				
活動内容	自由学習（宿題）・自由運動・自由遊び・音楽教室（キーボード演奏など）・料理教室 やマジック教室などの特別プログラム				

■活動の概要・経緯

○学校協議会をベースにした実行委員会を立上げ、実行委員がそのままボランティア（安全管理員など）ではない教室運営でスタートしました。

○講師や安全管理員を公募してスタートしましたが、なかなか定着せず、いくつかトラブルもあったので、以降は実行委員や安全管理員からの紹介で、安全管理員をお願いし、現在に至っています。

○最近は老若男女、就労している人が多く、ボランティアの確保が課題です。

■活動の特徴・工夫

○自由学習（宿題）・自由運動・自由遊び等の見守りを中心に活動し、講師の方の都合がつけば、料理教室やマジック教室などを実施しています。料理教室は土曜日開催にも拘わらずたくさん子どもたちが参加しています。

○当初は、いくつかの講座・教室を設けましたが、子どもがなかなか集まらず、現在は音楽教室のみが残っており、毎月一回練習を重ねて、毎年地区の文化祭に出演しています。

■スタッフの声

○子ども教室の子ども達が、通学路や自宅の周辺などで会った時に、「放課後のオッチャン」と声を掛けてくれる。子ども達の為に頑張ろうと思う。

○数年前に子ども教室に来ていた子ども達が、中学生や高校生になっても、街で会ったと挨拶してくれることがある。放課後子ども教室を手伝っていて良かったと思う。また、子ども達が健全に育ったことが嬉しい。

■活動の様子



「料理教室」
美味しいピザが焼けたかな？



地区の文化祭に
貼り絵を出展しました。

彩都西小学校区放課後子ども教室

活動テーマ	「居」心地の良い素敵な「人」たち＝「居人（いびと）」づくりをしています。
-------	--------------------------------------

■基本データ

活動日	水・土	本体事業 開催回数	31 回	まなび舎kids事業 開催日数	- 日
児童数	1,061 人	登録人数	569 人		
コーディネーター数	9 人	ボランティア数	30 人		
実施場所	各教室・運動場・体育館				
活動内容	ボランティアの講師による講座の開催（読み聞かせ・囲碁・将棋・どうぶつしょうぎ・パソコンプログラミング・理科実験・茶道・和太鼓・リコーダー・軟式野球・ラグビー・ショートテニス・ダンス・卓球・サッカー・チアリーディング・キックベースボール・バドミントン・グラウンドゴルフ・バスケットボール・剣道・ドッチビー・万華鏡・シャボン玉・大工広場・フラワーアレンジメント・ビーズ・お菓子づくり・豚まん・和菓子作り・キッズヨガ・まりつき・夏まつりポスター・手形アート・苔玉・パフォーマンス・英語・漢字検定模試・手芸）				

■活動の概要・経緯

発足当初、広い公園もあり、子どもたちが安心して遊べる環境にある彩都であえて居場所をつくることを疑問に思っていた時、大阪教育大学教授園田雅春氏の講演で「居人（いびと）づくり」という言葉と出会いました。そこで、居心地の良い場所ならぬ「居心地の良い人」＝「居人」をつくることを目標とし、保護者や地域のボランティアの協力のもと、さまざまな講座を開催して、子どもたちが多くの大人たちと関われるような活動をしています。

■活動の特徴・工夫

地域や保護者のボランティア講師＝「シショウ」からさまざまな事を学べる講座を開催し、講座開催時に子どもたちの見守りや講座開催のお手伝いをするちょっとボランティア＝「ちょボラ」さんにより子どもたちが多くの大人と関わりながら活動をしています。講座内容は運動系、文化系、工作など多種多様で、少しでも多くの子どもが参加できるように講座内容や募集学年を工夫しています。

■スタッフの声

当校区は学校創立4年目に設立されました。時には大学の講演会に行き、時には先発校区を見学してノウハウを学び、今では常に500名超のメンバーを抱えるまでに成長しました。実行委員になり、参加している大人も楽しく活動していることを知りました。子ども達の笑顔に触れ合えるのはうれしいもので、毎回とても楽しい時間を過ごしております。これからも楽しみながら実行委員の活動を続けていきたいと思っています。

■活動の様子



バスケットボール（左上）
将棋（右下）



フラワーアレンジメント（左上）
ちょボラさんによる講座準備（右下）

参考資料

■ 1 茨木市放課後子ども教室推進事業実施要綱

（目的）

第1 この要綱は、放課後や週末等に、地域住民の参画・協力を得て、小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもたちの居場所を設ける事業（以下「放課後子ども教室推進事業」という。）を実施することにより、子どもの体験・交流活動等の活性化を図り、地域社会全体で子どもの創造性、自主性、協調性を養い、豊かな成長を育むコミュニティづくりを推進することを目的とする。

（実施主体）

第2 放課後子ども教室推進事業の実施主体は、茨木市教育委員会とする。

2 前項の規定にかかわらず、茨木市教育委員会は、放課後子ども教室推進事業の全部又は一部を、各小学校区を単位として設置された小学校区放課後子ども教室実行委員会（以下「校区実行委員会」という。）に委託することができる。

（事業の連携）

第3 放課後子ども教室推進事業の実施に当たっては、当該小学校内に開設している茨木市学童保育室条例（平成26年茨木市条例第30号）に定める学童保育室と連携するものとする。

（事業内容）

第4 放課後子ども教室推進事業の内容は、主として次のとおりとする。

- (1) 放課後や週末等に、参加する子どもが、自由に遊べる場を設けるとともに、スポーツ、文化活動、体験活動、学習活動その他地域住民との交流活動等の諸活動を行うこと。
- (2) 国語・算数の教科学習を中心とした放課後の学習機会を提供すること。（以下、「まなび舎Kids」という。）
- (3) その他放課後子ども教室推進事業の目的を達成するために必要なこと。

（対象者）

第5 放課後子ども教室推進事業の対象者は、当該小学校区に在住する小学校1年生から6年生までの児童とする。

（事業への参加）

第6 放課後子ども教室推進事業に参加を希望する児童の保護者は、校区実行委員会へ参加申込書を提出し、登録するものとする。

2 前項の規定にかかわらず、学童保育室に入室した者は、校区実行委員会に登録したものとみなし、校区実行委員会が別に定める所定の手続きを経て、活動に参加することができる。

（実施場所）

第7 放課後子ども教室推進事業は、小学校の余裕教室をはじめ、運動場や屋内運動場などの学校の諸施設を学校教育に支障のない範囲で活用して実施するものとする。た

だし、当該校区実行委員会が必要と認めた場合は、当該小校区内の公民館等、その他の施設等で実施することができる。

（実施日及び活動時間等）

第8 放課後子ども教室推進事業の実施日は、日曜日及び国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日を除く年間250日程度とする。

2 「まなび舎Kids」は、週2回程度実施するものとし、前項の実施日との重複も可能とする。

3 活動時間は、原則として、授業のある日は午後2時から午後5時までとし、授業のない日は、午前9時から正午まで及び午後1時から午後4時までとする。

4 放課後子ども教室推進事業の実施日及び活動時間は、前2項に規定する範囲において、校区実行委員会が決定する。

（スタッフの配置）

第9 放課後子ども教室推進事業の実施に当たっては、次に掲げる者（第12において「スタッフ」という。）を配置する。

- (1) コーディネーター
- (2) 安全管理員
- (3) 地域ボランティア
- (4) 学習支援アドバイザー
- (5) その他校区実行委員会で定める者

（コーディネーターの役割）

第10 コーディネーターは、次の各号に掲げる事項を所掌する。

- (1) 学童保育室との調整に関する事。
- (2) 保護者等に対する参加・協力の呼びかけに関する事。
- (3) 学校や関係機関・団体等との連絡調整に関する事。
- (4) 活動プログラムの企画・策定に関する事。
- (5) その他放課後子ども教室推進事業の実施に関し、必要な事項に関する事。

2 コーディネーターは、教育委員会が委嘱する。

（安全管理員等の役割）

第11 安全管理員等の役割は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める事項とする。

- (1) 安全管理員 主に子どもの安全確保、活動の支援を行うこと。
- (2) 地域ボランティア 主に子どもの活動の支援、見守りを行うこと。
- (3) 学習支援アドバイザー 「まなび舎Kids」において子どもの学習活動を支援すること。

（スタッフの守秘義務等）

第12 スタッフは、次に掲げることを順守しなければならない。

- (1) 活動上知り得た秘密を漏らさないこと。その役割を退いた後も、同様とする。
- (2) 活動上知り得た情報を利用して、政治、宗教、営利等を目的とする行為を行わないこと。
- (3) 信用を失墜する行為をしないこと。
- (4) 子どもの権利に十分留意し、活動を通じて子どもの健やかな育成と安全・安心な居場所づくりに寄与するように努めること。
- (その他)

第13 この要綱に定めるもののほか、放課後子ども教室推進事業について必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から実施する。

附 則

この要綱は、平成22年3月1日から実施し、平成21年4月1日から適用する。

附 則

この要綱は、平成22年6月15日から実施する。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から実施する。

■ 2 児童数・登録児童数・登録率（平成20～29年度）

年度(平成)	児童数	登録児童数	登録率						
			1年	2年	3年	4年	5年	6年	全体
20	15,346人	8,015人	75.2%	67.6%	59.2%	45.0%	36.6%	27.0%	52.2%
21	16,759人	9,520人	75.8%	72.2%	65.4%	50.4%	42.4%	33.7%	56.8%
22	16,833人	10,267人	80.3%	76.7%	68.9%	54.9%	44.9%	40.3%	61.0%
23	16,876人	10,500人	82.8%	78.6%	67.9%	57.8%	46.2%	40.0%	62.2%
24	16,715人	10,278人	83.1%	76.2%	69.0%	55.6%	47.6%	38.9%	61.5%
25	16,552人	10,337人	82.6%	79.5%	71.2%	56.0%	46.1%	40.4%	62.5%
26	16,586人	10,466人	84.2%	79.4%	74.1%	55.8%	47.2%	39.5%	63.1%
27	16,465人	10,599人	84.8%	81.5%	72.7%	60.2%	46.8%	41.0%	64.4%
28	16,415人	10,730人	88.0%	81.4%	75.6%	58.1%	53.2%	36.5%	65.4%
29	16,404人	10,814人	89.0%	82.7%	74.2%	56.6%	49.6%	42.4%	65.9%



■ 3 本体事業延べ実施回数・日数・参加者数（平成 20～29 年度）

年度(平成)	校区数	延べ回数	延べ日数	延べ参加者数
20	30校区	1,981回	1,840日	169,206人
21	32校区	2,586回	2,401日	199,303人
22		2,643回	2,480日	219,184人
23		2,590回	2,440日	226,393人
24		2,616回	2,453日	243,208人
25		2,655回	2,495日	250,928人
26		2,769回	2,599日	266,185人
27		2,854回	2,672日	283,810人
28		2,966回	2,776日	309,261人
29		2,990回	2,811日	333,013人

※本体事業：まなび舎kids事業以外の放課後子ども教室事業



😊 参加児童の声

○放課後子ども教室のこと、大好き！お友達といっぱい遊べるし、いろんなことができるから。いつ来ても楽しいよ。

○みんなで集まって遊ぶことができるから好き。今日のホッケーも楽しかった。

■ 4 まなび舎kids事業延べ実施日数・参加者数（平成21～29年度）

年度(平成)	校区数	延べ日数	延べ参加者数
21	7校区	188日	6,948人
22	9校区	424日	9,729人
23	10校区	571日	15,929人
24	9校区	666日	22,261人
25		747日	21,017人
26		725日	20,768人
27	10校区	721日	23,144人
28		744日	24,176人
29		824日	29,311人

※まなび舎kids事業：子どもたちに対して教科学習を中心とした学習機会を提供し、教員と連携しながら、学生や退職教員等の「学習支援アドバイザー」の指導のもと、児童の学力向上と学習習慣の定着を図る。平成21年9月から開始。



😊 参加保護者の声

息子は、サッカー教室に参加しております。スタッフの方はボランティアで運営していただいて、楽しくサッカーさせていただいています。いつも感謝しております。ありがとうございます。

■ 5 放課後子ども教室代表者連絡会実施状況

・概 要：放課後子ども教室の課題等について意見交流・情報提供の場として開催。

・歴代議長：平成21～22年度 三木 昭 （水尾小学校区）
 平成23～24年度 京極 孝夫 （太田小学校区）
 平成25年度 高山 隆則 （彩都西小学校区）
 平成26～29年度 更屋 祥吾 （郡小 学 校 区）
 平成30年度 宗清 勝三 （耳原小学校区）

・実施状況：

年度(平成)	日時	内容
21	平成21年6月24日(水) 午後7時～8時30分	今年度各校区の活動予定
	平成21年10月28日(水) 午後7時～8時30分	(1)スタッフに関すること (2)活動内容に関すること (3)講座の講師などの事務局からの情報提供と各校区との情報共有
	平成22年2月22日(月) 午後7時～8時30分	グループ別交流会（各校区の実態交流）
22	平成22年6月24日(木) 午後7時～8時	(1)今年度各校区の活動予定 (2)活動事例発表（三島・太田小学校区）
	平成22年11月11日(木) 午後7時～8時30分	(1)支援の必要な児童の参加 (2)危機管理体制
	平成23年2月23日(水) 午後7時～8時30分	放課後子ども教室を実施しての成果と課題について交流 コーディネーター： 梅花女子大学 教授 坂本 健 氏
23	平成23年6月24日(木) 午後7時～8時	年度当初の配布プリント
	平成23年11月17日(木) 午後7時～8時	「今後も、継続的に放課後子ども教室を実施するために…」をテーマに、グループ別交流会
	平成24年2月9日(木) 午後7時～8時30分	「教育コミュニティづくり」をすすめるために （『放課後子ども教室』の役割） 講師：追手門学院大学 教授 三川 俊樹 氏
24	平成24年6月29日(金) 午後7時～8時	安全対策

年度(平成)	日時	内容
24	平成24年11月16日(金) 午後7時～8時	(1)「各校区の長所」をテーマに、 グループ別交流会 (2)放課後子ども教室研究会について
	平成25年2月21日(木) 午後7時～8時	放課後子ども教室立ち上げ当時を振り返って アドバイザー：三木 昭 氏・竹林 巧 氏
25	平成25年6月27日(木) 午後7時～8時	保護者への啓発
	平成26年2月13日(木) 午後7時～8時30分	「各校区の長所」をテーマに、グループ別交流会
26	平成26年6月26日(木) 午後7時～9時	「運営スタッフの世代交代を考える」 ～様々な年代が意欲的に参加しやすい『魅力的な』 実行委員会とは～ 講師：大阪成蹊大学 教授 園田 雅春 氏
	平成27年2月26日(木) 午後7時～8時30分	各校区のPR
27	平成27年6月25日(木) 午後7時～8時30分	スタッフの募集
	平成28年2月19日(金) 午後6時～8時	「子どもの事故災害防止」について 講師：大阪教育大学 教授 藤田 大輔 氏
28	平成28年6月27日(月) 午後6時30分～8時30分	(1)活動事例発表(茨木小学校区) (2)グループ別交流会 (学童保育との連携・災害時の対応・スタッフ募集)
	平成29年2月23日(木) 午後6時30分～8時	情報提供 ・市内企業から講座等紹介 ・他機関からの情報提供 ・各校区から(受付方法・子どもへの接し方)
29	平成29年6月26日(月) 午後7時～8時	情報提供 ・他機関からの情報提供 ・各校区から(講座・コーディネーター)
	平成30年2月28日(木) 午後7時～8時	情報提供 ・他機関からの情報提供 ・市内企業プログラム一覧 ・各校区から(学校・PTA・保護者との連携)
30	平成30年8月1日(水) 午後7時～8時	情報提供 ・他機関からの情報提供 ・各校区から(ケガの対応・保護者への周知))

■ 6 放課後子ども教室研究会実施状況

- ・概要：代表者連絡会でのテーマ設定をより実情に応じた、またニーズに応じたものにするために開催。市内を東西南北4ブロックに分け、各ブロックより2名ずつ選出。

・歴代メンバー：

年度(平成)	東		西		南		北	
25	茨木	太田	春日丘	郡	大池	葦原	福井	彩都西
26								
27								
28	三島	中条			中津	玉島	耳原	郡山
29								
30	東				玉櫛	東奈良		

東ブロック：茨木・三島・中条・東・太田・庄栄・白川・西河原

西ブロック：春日・春日丘・郡・沢池・畑田・穂積・西

南ブロック：玉櫛・玉島・大池・中津・水尾・天王・葦原・東奈良

北ブロック：安威・福井・豊川・清溪・忍頂寺・郡山・山手台・耳原・彩都西

・実施状況

年度(平成)	日時	
24	平成 25 年	3月 25 日(月) 午後7時～8時
25	平成 25 年	11月 28 日(木) 午後7時～8時
26	平成 26 年	5月 29 日(木) 午後7時～8時
	平成 26 年	11月 17 日(月) 午後7時～8時
27	平成 27 年	5月 26 日(火) 午後7時～8時
	平成 27 年	11月 30 日(月) 午後6時～7時
28	平成 28 年	5月 26 日(木) 午後6時30分～7時30分
	平成 28 年	11月 28 日(月) 午後6時30分～7時30分
29	平成 29 年	5月 25 日(木) 午後6時30分～7時30分
	平成 29 年	12月 20 日(水) 午後6時30分～7時30分
30	平成 30 年	5月 17 日(木) 午後6時30分～7時30分
	平成 30 年	12月 27 日(木) 午前10時30分～11時30分

■ 7 放課後子ども教室スタッフ研修会実施状況

年度(平成)	日時	内容	
20	平成20年12月16日(火) 午後1時30分～4時30分	救急救命講習 講師：茨木市消防署 救急救助課	
	平成21年2月23日(土) 午後2時～4時	「今どきの子をどうとらえるか」 ー地域・おとなの役割ー 講師：大阪教育大学 教授 園田 雅春 氏	
21	平成21年10月1日(木) 午後7時～9時	絵本の読み聞かせ講習 『子どもと共に楽しみ・学ぶ読み聞かせ』 講師：梅花女子大学 教授 平松 克一 氏	
22	平成22年10月7日(木) 午前10時～11時30分	救急救命講習 講師：茨木市消防署 救急救助課	
25	平成25年11月21日(木) 午前10時～11時30分	救急救命講習 講師：茨木市消防署 救急救助課	
26	平成26年11月5日(水) 午後2時30分～4時30分	見学会	彩都西小学校区放課後子ども教室
	平成26年11月6日(木) 午後3時15分～4時30分		福井小学校区放課後子ども教室
	平成26年11月12日(水) 午後2時30分～4時30分		郡小学校区放課後子ども教室
27	平成27年10月14日(水) 午前10時～11時30分	救急救命講習 講師：茨木市消防署 救急救助課	
	平成27年11月5日(木) 午後3時15分～4時45分	見学会	水尾小学校区放課後子ども教室
	平成27年11月12日(木) 午後3時～4時30分		三島小学校区放課後子ども教室
	平成27年11月18日(水) 午後2時30分～4時		西小学校区放課後子ども教室

年度(平成)	日時	内容	
28	平成28年9月28日(水) 午前10時～11時30分	救急救命講習 講師：茨木市消防署 救急救助課	
	平成28年11月9日(水) 午後2時30分～4時30分	見学会	中津小学校区放課後子ども教室
	平成28年11月11日(金) 午後2時30分～4時30分		沢池小学校区放課後子ども教室
	平成28年11月17日(木) 午後3時20分～4時30分		玉島小学校区放課後子ども教室
29	平成29年9月27日(水) 午前10時～12時	救急救命講習 講師：茨木市消防署 救急救助課	
	平成29年11月15日(水) 午後2時15分～4時	見学会	畑田小学校区放課後子ども教室
	平成29年11月21日(火) 午後2時45分～4時		白川小学校区放課後子ども教室
	平成29年12月11日(月) 午後2時～4時	「発達に課題を抱える児童への対応等について」 講師：大阪公立校チーフスクールカウンセラー 二見 真美 氏	
30	平成30年10月25日(木) 午前10時～12時	防災研修会（教室実施中に急な大雨・雷・竜巻、地震、高温が発生した時の対応等） 講師：大阪管区气象台職員	
	平成30年10月31日(水) 午後2時30分～4時30分	見学会	春日丘小学校区放課後子ども教室
	平成30年11月19日(月) 午後3時15分～5時		天王小学校区放課後子ども教室

■ 8 茨木市放課後子ども総合プラン運営委員会設置要綱

（設置）

第1 本市における放課後子ども総合プランに係る施策を推進するため、茨木市放課後子ども総合プラン運営委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

（検討事項）

第2 委員会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 学童保育事業と放課後子ども教室推進事業との具体的な連携方策に関すること。
- (2) 放課後子ども総合プランの活動プログラムの企画・充実に関すること。
- (3) 放課後子ども総合プランの安全管理方策に関すること。
- (4) 放課後子ども総合プランの広報活動方策に関すること。
- (5) 放課後子ども総合プランに参画するボランティア等の地域の協力者の人材確保方策に関すること。
- (6) 学童保育事業及び放課後子ども教室推進事業の検証に関すること。

（組織）

第3 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長は教育総務部長の職にある者を、副委員長はこども育成部長の職にある者をもって充てる。

3 委員は、別表第1に掲げる関係団体を代表する者及び別表第2に掲げる課に所属する職員のうち当該課の長が推薦する者をもって充てる。

（委員長等）

第4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第5 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員長が必要と認めたときは、委員以外の者に会議への出席及び資料の提出を求め、説明又は意見を聴くことができる。

（庶務）

第6 委員会の庶務は、学童保育課及び社会教育振興課において処理する。

（秘密の保持）

第7 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

（その他）

第8 この要綱に定めるもののほか、委員会について必要な事項は、委員長が委員会に諮って別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から実施する。

別表第1

放課後子ども教室代表者連絡会
茨木市PTA協議会
市立小学校校長会

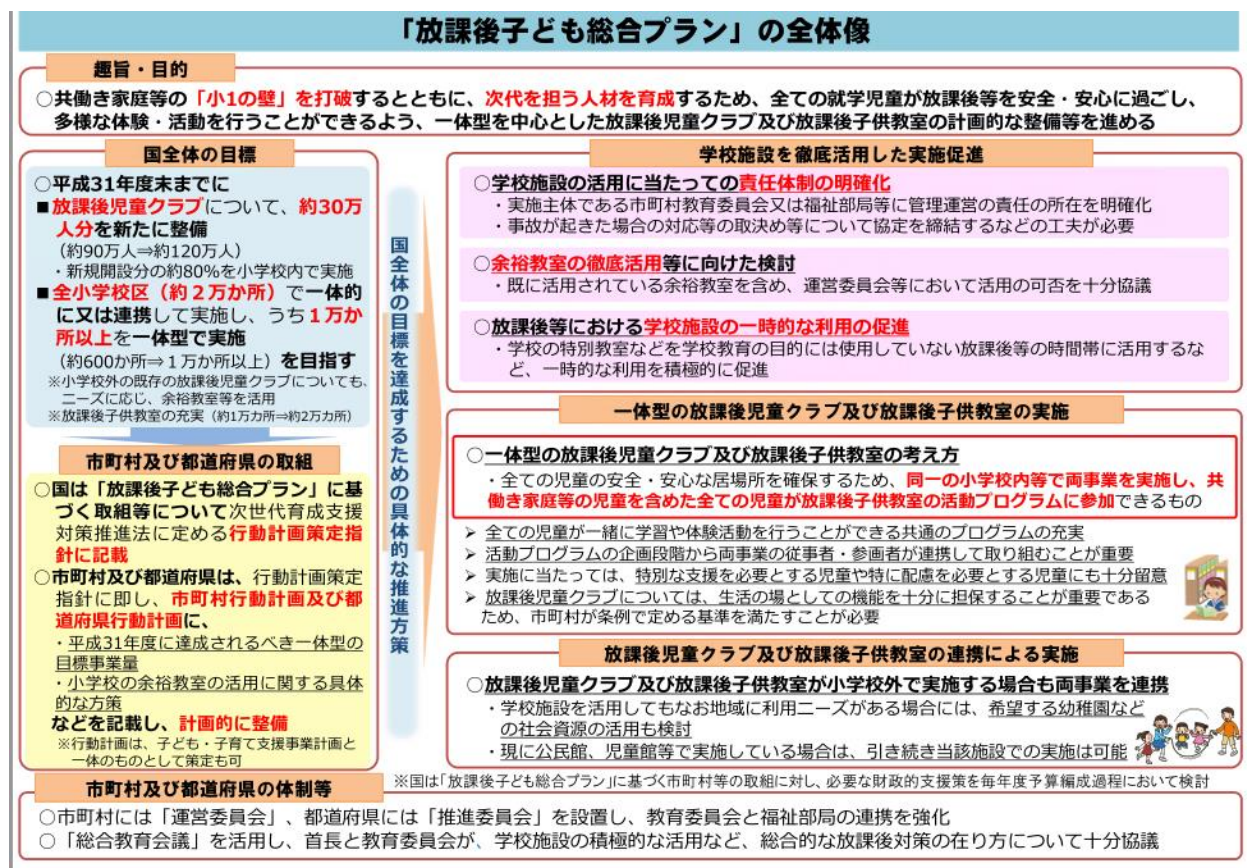
別表第2

学童保育課
社会教育振興課
学校教育推進課

<補足資料>

「放課後子ども総合プラン」について

(平成26年7月31日に文部科学省・厚生労働省策定)



■ 9 放課後子ども総合プラン運営委員会実施状況

【委員 長】 教育総務部長

【副委員長】 こども育成部長

【委 員】 放課後子ども教室代表者連絡会議長・茨木市PTA協議会代表
市立小学校校長会代表・学童保育課長・学校教育推進課長
社会教育振興課長

【事 務 局】 学童保育課指導係長・社会教育振興課地域青少年係長
社会教育振興課指導主事・社会教育振興課職員

年度(平成)	日時	内容
27	平成27年7月31日(金) 午後6時30分～7時30分	放課後子ども総合プランの推進 ・学童保育事業の現状 ・放課後子ども教室推進事業の現状 ・意見交換
	平成28年2月8日(月) 午後6時～7時	放課後子ども総合プランに係る課題の検討 ・具体的な連携方策 ・意見交換
28	平成28年10月17日(月) 午前10時～11時	放課後子ども総合プランに係る連携 ・学童保育事業の現状 ・放課後子ども教室推進事業の現状 ・意見交換
	平成29年2月10日(金) 午前10時～11時	放課後子ども総合プランに係る課題の検討 ・学童保育室との連携状況 ・学童保育指導員研修 ・意見交換
29	平成29年7月21日(金) 午前5時30分～6時30分	放課後子ども総合プランに係る連携 ・学童保育事業の現状 ・放課後子ども教室推進事業の現状 ・意見交換
	平成30年2月21日(水) 午後5時～6時	放課後子ども総合プランに係る課題の検討 ・学童保育事業の現状 ・放課後子ども教室推進事業の現状 ・意見交換
30	平成30年10月4日(木)	放課後子ども総合プランに係るこれまでの連携と今後について

■ 10 学校からの声

- ・放課後子ども教室に関わってくださる地域の皆さんは、それぞれにお仕事や個々の事情があるにもかかわらず、ほとんど手弁当で子ども教室の運営に携わってくれています。日々心を砕いて講座の企画や、子ども・保護者への対応をなさっており、頭の下がる思いです。ある日、関係者が集まっての調整会議の際、とある難題にぶつかり、会議の参加者が頭を抱える事態になりました。そんな中、委員長の方が「難題はあるけど、何とかあります。児童のみんな絶対喜びますよ！」と伝えると、「せやな。子どものためやし、頑張ろう！」と参加者が頭を上げ、話が進んでいきました。『地域の宝』である子どもたちのためなら、労苦を惜しまない姿が胸を打ちました。同じ地域に住んでいるからこそ、その地域の中で楽しく、そしてたくましく育てほしいという熱い思い、そして地域を大事にするという気概を態度で示してくれる方々が関わってくれたからこそ、放課後子ども教室は10年も続けてこられたのだと感じています。これからも未来を切り開く子どもたちと、未永く関わっていただけたらと思います。
- ・地域の方々が子どもたちに豊かな経験を、豊かな体験活動をとという思いで、様々な講座を用意してくださり、今の子どもたちはとても幸せだなと感じます。何より地域の方々の温かな熱い思いに触れることを通して子どもたちが健やかに育くまれていると思います。感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・放課後子ども教室10周年おめでとうございます。これまで多くの子どもたちのために心温まる環境を作りつづけていただき感謝しております。今後も子どもたちに元気を与えてくれる教室になるよう願っております。
- ・子どもたちから「今日放課後子ども教室のスタッフの人と遊ぶねん。」や「放課後子ども教室でしか遊べない友だちがいるからうれしい。」といった声を聞きます。また、過ごしている様子を見ていたら、普段授業中には見せない、心からの「笑顔」や「元気な声」がたくさんあります。それだけ子どもたちにとって、精神的にも安心・安全な居場所となっている事を実感しております。今後もどうか子どもたちのために、ご尽力いただけましたら幸いです。
- ・放課後子ども教室開設10周年おめでとうございます。各校区の特色を生かしながらしっかりと根付いてきたのも実行委員長さんをはじめコーディネーター、各種スタッフの皆さまのご尽力のおかげであると感謝申し上げます。今後もますますのご発展を祈念いたしております。
- ・放課後子ども教室は、子ども達がほっとしていい笑顔を見せる場所です。学校の教職員や家族以外の方に温かく見守ってもらえることは、子ども達にとって幸せなことだと思います。楽しい企画と温かい見守りに感謝します。



11 茨木市放課後子ども教室大学生ボランティア参加状況

- 概要：ボランティア体験を通して、さまざまな人々とのふれあいの中から、自分以外の他者や社会について関心と共感を持ち、「ともに生きる」豊かな心を学び、さらには将来子どもに関わる職業を目指す大学生にとって必要な子どもとのかかわりを持てる貴重な場を提供する。

登録状況：

年度(平成)	登録人数
26	2人
27	16人
28	14人
29	11人



募集チラシ：

**大学生ボランティアスタッフ
大募集!!!**

放課後子ども教室で大学生ボランティアスタッフとして活動してみませんか。
子どもと接する事が好き、ボランティア活動をしてみたい、
将来の職業のために学びたい等、興味・関心のある方は
ぜひ下記の問い合わせ先へご連絡を！

【お問い合わせ先】
茨木市教育委員会教育総務部 青少年課（上中泉青少年センター内）
TEL:072-622-5180 茨木市 放課後 大学生 検索

放課後子ども教室とは？

放課後などに子どもたちの安心で安全な居場所を設ける事業を推進することにより、子どもの体験・交流活動の活性化を図り、地域社会全体で子どもの豊かな成長を育むコミュニティづくりを推進することを目的としています。茨木市では、地域の方々に組織していただいている実行委員会に委託し、現在市内32小学校区で実施しています。

活動例：自由遊び、宿題の見守り・支援、講座（運動・文化）など、各校区の特徴を活かした活動です。
※実施日や実施内容は各校区実行委員会で決めています。

募集要項

目的

放課後子ども教室に参加することで大学生がボランティア体験を通して、さまざまな人々とのふれあいの中から、自分以外の他者や社会について関心と共感を持ち、「ともに生きる」豊かな心を学び、さらには将来子どもに関わる職業を目指す大学生にとって必要な子どもとのかかわりを持てる貴重な場を提供するために募集を行うものです。

ボランティアの内容

市内全小学校区で実施している放課後子ども教室において、学校の放課後や休日、長期休業中における自由遊びや宿題、各種体験講座の安全の確保のための見守りや、手助けをします。

対象

市内在住（又は出身）及び在学の大学生

活動参加までの流れ

1. 面接
氏名・連絡先・志望動機・参加希望日・交通手段など活動に関わるにあたっての様々な内容をお聞かせします。
2. 見学
面接で聞いた内容をふまえて、実際に小学校へ行き、活動を見学します。
3. 登録
活動可能であれば、書面による登録を行い、ボランティアスタッフとして活動に参加していただきます。

申込方法及び受付時間

青少年課へ電話申込（電話：072-622-5180）8：45～17：15（土・日・祝祭日）

※この他にも、放課後子ども教室について何かご質問等がありましたら、お気軽にお問合せください。

参加者・実行委員会の声

- ・初めは不安だったが、すぐ子どもたちと打ち解けることができた。子どもの成長過程を見ることがやりがいになる。・自由に楽しく子どもたちと過ごしています。（参加者）
- ・大学生のお姉さんやお兄さんが来てくれると、子どもたちが喜んでくれる。・外遊びの時に子どもたちと一緒に体を動かしてくれることがありがたい。（実行委員会）

このチラシは1,000部印刷し、一校区毎に配付します。

■ 12 市内企業との連携

- 概要：平成29年4月から、子どもたちのさらに豊かな体験活動の充実を目的に、市内事業者のご協力をいただき、企業の専門的な技能等を活かした小学生向けのプログラムを実施。

・プログラム：

企業名	プログラム名
ソントン食品工業(株)	いちごジャムを作ろう！
高石工業(株)	世界に一つのゴム ワクワク体験
射場石利石材(株)	①大理石みがき ②石でキャンドルランタンを作ろう！ ③石に名前をほってみよう！ ④ピザをつくって石窯で焼こう！ ⑤石で植物ポットを作ろう！ ⑥石にデコパージュをしてみよう！ ⑦天然石を使ってヘアアクセサリを作ろう！
(株)原田設備	わくわく水道の体験
(株)伏見屋	豆腐づくり体験
橋本食糧工業(株)	粒あんが出来るまでの勉強 最中の製品が出来るまでを体験
(株)サニーフィールド	スポーツ時のケガを予防する体作り
(株)めりーらんど	①英語DEクッキング ②英語DE外遊び
ユニクル(株)	身近なごみから考えよう！
ノア・インドアステージ(株)	テニスにチャレンジ！



あとがき

本市の放課後子ども教室が、本格実施されて今年度で、10周年を迎えました。「10周年」と一言で言うと、とても短いのですが実際には、ここまで長い時間が経過しており、現在に至るまで各小学校区の実行委員会には様々な創意工夫をしながら運営いただいております。改めて、実行委員会のスタッフをはじめ運営に携わっていただいている地域の皆様に感謝いたします。

また、各小学校区のみならず歴代の放課後子ども教室代表者連絡会議長様をはじめ、本冊子の作成にあたり、文書作成にご協力をいただきました皆様に改めて感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

さて、放課後子ども教室を人間で例えるなら10歳になりました。スタートを0歳の赤ちゃんとするなら、はいはい、よちよち歩きから今ではしっかりと歩き、それぞれの地域の実情に合わせた「個性」も芽生えて、大きく成長してこられました。そして、「10歳の壁」があるようにどの校区も乗り越えていく課題はあると思います。

当課としましては、今後も各小学校区が、それぞれの課題を乗り越えていくべく手助けと個性あふれた地域の実情に合わせて、のびのびと運営ができるよう協力していく所存です。今まで同様2人3脚で、放課後子ども教室を進めてまいりたいと考えております。

最後に、本市の放課後子ども教室が今後20年、30年と子どもたちの安全・安心な居場所として、引き続きあり続けられるように地域の皆様にはご協力いただきたいと存じます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

社会教育振興課

茨木市放課後子ども教室 10 周年記念誌

平成 31 年（2019 年）2 月 25 日 発行

発行：茨木市教育委員会 教育総務部 社会教育振興課

茨木市上中条二丁目 11 番 22 号

TEL 072-622-5180